

**【照会先】**

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課  
課長 小野 暁史 (内線 7461)  
課長補佐 近藤 敬太 (内線 7475)  
月報調整係 (内線 7476)  
(代表電話) 03-5253-1111  
(直通電話) 03-3595-2813

# 平成 25 年 人口動態統計月報年計(概数) の概況

## 目 次

	頁
<b>調査の概要</b> .....	1
<b>結果の概要</b>	
<b>1 結果の要約</b> .....	2
<b>2 出生</b>	
(1) 出生数 .....	4
(2) 合計特殊出生率 .....	6
<b>3 死亡</b>	
(1) 死亡数・死亡率 .....	8
(2) 死因 .....	10
<b>4 婚姻</b> .....	14
<b>5 離婚</b> .....	16
<b>統計表</b>	
第1表 人口動態総覧の年次推移 .....	20
第2表 人口動態総覧(率)の年次推移 .....	24
第3表 出生数の年次推移, 母の年齢(5歳階級)別 .....	28
第4表 出生数の年次推移, 出生順位別 .....	28
第5表 死亡率(人口10万対)の年次推移, 性・年齢(5歳階級)別 .....	29
第6表 死亡数・死亡率(人口10万対), 死因简单分類別 .....	32
第7表 死因順位(1~5位)別死亡数・死亡率(人口10万対), 性・年齢(5歳階級)別 .....	36
第8表 人口動態総覧, 都道府県(21大都市再掲)別 .....	42
第9表 人口動態総覧(率), 都道府県(21大都市再掲)別 .....	44
第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(21大都市再掲)別 .....	46
<b>参 考</b>	
合計特殊出生率について .....	48
人口動態総覧(率)の国際比較 .....	52
分母に用いた人口 .....	52

この資料は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

(掲載場所 URL) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai13/index.html>



# 調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成 25 年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統
 

市区町村	—	保 健 所	—	都 道 府 県	—	厚 生 労 働 省
		└─┬─┘				
		保健所を 設置する市		・特別区		
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

※人口動態調査は、統計法に基づく基幹統計「人口動態統計」を作成するための統計調査である。

## ＜利用上の注意＞

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

<p>人口動態統計速報 数値：調査票を作成した数</p> <p>集計客体：日本における日本人及び 外国人並びに外国における 日本人 (いずれも前年以前発生のもの を含む)</p> <p>公表：毎月（調査月の約 2 か月後）</p>	<p>人口動態統計月報 数値：概数</p> <p>集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)</p> <p>公表：毎月（調査月の約 5 か月後）</p> <p>※ <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">：毎年（年間合計） （調査年の翌年 6 月）</span></p>	<p>人口動態統計年報 数値：確定数（概数に修正を加えたもの）</p> <p>集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、 外国における日本人及び 前年以前発生ものは別掲)</p> <p>公表：毎年（調査年の翌年 9 月）</p>
---	--	---

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小（0.05, 0.005 未満）の場合	0.0, 0.00
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の説明

自 然 増 減：出生数から死亡数を減じたもの  
 乳 児 死 亡：生後 1 年未満の死亡  
 新 生 児 死 亡：生後 4 週未満の死亡  
 早期新生児死亡：生後 1 週未満の死亡  
 死 産：妊娠満 12 週以後の死児の出産  
 周 産 期 死 亡：妊娠満 22 週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの  
 合計特殊出生率：その年次の 15 歳～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性が仮にそ  
 （期間合計特殊出生率）の年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。（実際に 1 人の  
 女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。）

- 4 この概況で使用した数値は、平成 24 年以前は確定数である。
- 5 昭和 47 年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和 19～21 年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

# 結果の概要

## 1 結果の要約

### (1) 出生数は減少

出生数は102万9800人で、前年の103万7231人より7431人減少し、出生率（人口千対）は8.2で、前年と同率であった。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、14歳以下及び20～34歳の各階級では前年より減少しているが、15～19歳及び35歳以上の各階級では前年より増加した。

また、出生順位別にみると、すべての順位で前年より減少した。

### (2) 死亡数は増加

死亡数は126万8432人で、前年の125万6359人より1万2073人増加し、死亡率（人口千対）は10.1で、前年の10.0を上回った。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は肺炎となっている。全死亡者に占める割合はそれぞれ、28.8%、15.5%、9.7%であり、死亡者のおよそ3.5人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

### (3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△23万8632人で、前年の△21万9128人より1万9504人減少し、自然増減率（人口千対）は△1.9で、前年の△1.7を下回り、7年連続でマイナスとなった。

出生数が死亡数を下回った県は43都道府県であり、出生数が死亡数を上回った県は、神奈川県、愛知県、滋賀県、沖縄県の4県となっている。

### (4) 死産数は減少

死産数は2万4093胎で、前年の2万4800胎より707胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は22.9で、前年の23.4を下回った。死産率のうち、自然死産率は10.4で、前年の10.8を下回り、人工死産率は12.5で、前年の12.6を下回った。

## (5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は66万594組で、前年の66万8869組より8275組減少し、婚姻率（人口千対）は5.3で前年と同率であった。

平均初婚年齢は夫30.9歳、妻29.3歳で、夫と妻ともに、前年より0.1歳上昇している。

## (6) 離婚件数は減少

離婚件数は23万1384組で、前年の23万5406組より4022組減少し、離婚率（人口千対）は1.84で、前年の1.87を下回った。

表1 人口動態総覧

	実 数			率		平均発生間隔	
	平成25年 概数	平成24年 確定数	対前年増減	平成25年 概数値	平成24年 確定値	平成25年 概数値	平成24年 確定値
出 生	1 029 800	1 037 231	△ 7 431	8.2	8.2	分 秒 31"	分 秒 30"
死 亡	1 268 432	1 256 359	12 073	10.1	10.0	25"	25"
乳児死亡	2 185	2 299	△ 114	2.1	2.2	240' 33"	229' 15"
新生児死亡	1 026	1 065	△ 39	1.0	1.0	512' 17"	494' 52"
自然増減	△ 238 632	△ 219 128	△ 19 504	△ 1.9	△ 1.7	…	…
死 産	24 093	24 800	△ 707	22.9	23.4	21' 49"	21' 15"
自然死産	10 934	11 448	△ 514	10.4	10.8	48' 4"	46' 2"
人工死産	13 159	13 352	△ 193	12.5	12.6	39' 57"	39' 28"
周産期死亡	3 863	4 133	△ 270	3.7	4.0	136' 4"	127' 31"
妊娠満22週 以後の死産	3 111	3 343	△ 232	3.0	3.2	168' 57"	157' 39"
早期新生児 死 亡	752	790	△ 38	0.7	0.8	698' 56"	667' 8"
婚 姻	660 594	668 869	△ 8 275	5.3	5.3	48"	47"
離 婚	231 384	235 406	△ 4 022	1.84	1.87	2' 16"	2' 14"

	平成25年 概数値	平成24年 確定値
合計特殊出生率	1.43	1.41

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。  
死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

## 2 出生

### (1) 出生数

平成25年の出生数は102万9800人で、前年の103万7231人より7431人減少した。

第1次ベビーブーム期（昭和22～24年）に生まれた女性が出産したことにより、昭和46～49年には第2次ベビーブームとなり、1年間に200万人を超える出生数であった。昭和50年以降は毎年減少し続け、平成4年以降は増加と減少を繰り返しながら、ゆるやかな減少傾向であったが、平成13年からは5年連続で減少した。平成18年は6年ぶりに増加したが、平成19年以降、減少、増加を繰り返し、平成23年以降は3年連続で減少した。（図1）

出生率（人口千対）は8.2で、前年と同率であった（統計表第2表）。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、14歳以下及び20～34歳の各階級では前年より減少しているが、15～19歳及び35歳以上の各階級では前年より増加した（表2-1）。

出生順位別にみると、いずれの出生順位についても平成13年から5年連続で減少したが、平成18年には6年ぶりに増加した。平成19年及び平成20年は、第1子、第2子は減少し、第3子以上は増加、平成21年はすべてで減少、平成22年は第1子が減少、第2子、第3子以上は増加、平成23年は第1子、第2子は減少、第3子以上は増加した。平成24年及び平成25年は、すべての出生順位で減少した。（表2-2）

第1子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成25年は30.4歳である（表3）。

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

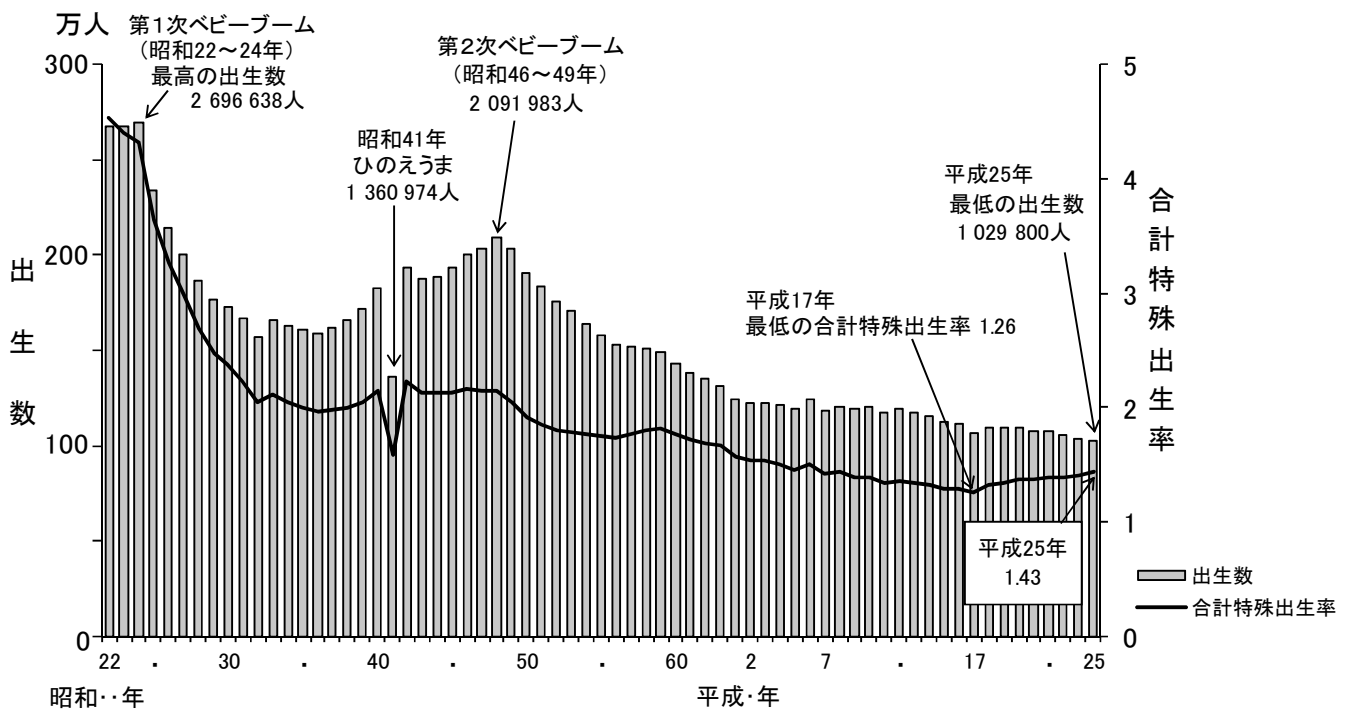


表 2-1 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数の年次推移

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	23年-22年	24年-23年	25年-24年
総数	1 071 304	1 050 806	1 037 231	1 029 800	△ 20 498	△ 13 575	△ 7 431
～14歳	51	44	59	51	△ 7	15	△ 8
15～19	13 495	13 274	12 711	12 912	△ 221	△ 563	201
20～24	110 956	104 059	95 805	91 247	△ 6 897	△ 8 254	△ 4 558
25～29	306 910	300 384	292 464	282 790	△ 6 526	△ 7 920	△ 9 674
30～34	384 385	373 490	367 715	365 400	△ 10 895	△ 5 775	△ 2 315
35～39	220 101	221 272	225 480	229 736	1 171	4 208	4 256
40～44	34 609	37 437	42 031	46 547	2 828	4 594	4 516
45～49	773	802	928	1 069	29	126	141
50歳以上	19	41	32	47	22	△ 9	15

注：総数には母の年齢不詳を含む。

表 2-2 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	23年-22年	24年-23年	25年-24年
総数	1 071 304	1 050 806	1 037 231	1 029 800	△ 20 498	△ 13 575	△ 7 431
第1子	509 736	494 712	484 710	481 410	△ 15 024	△ 10 002	△ 3 300
第2子	390 212	383 666	382 461	379 460	△ 6 546	△ 1 205	△ 3 001
第3子以上	171 356	172 428	170 060	168 930	1 072	△ 2 368	△ 1 130

表 3 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和50年	60	平成7年	17	22	23	24	25
平均年齢 (歳)	25.7	26.7	27.5	29.1	29.9	30.1	30.3	30.4

## (2) 合計特殊出生率

平成 25 年の合計特殊出生率は 1.43 で、前年の 1.41 を上回った。

昭和 40 年代は、第 2 次ベビーブーム期（昭和 46～49 年）を含めほぼ 2.1 台で推移し、昭和 50 年に 2.00 を下回ってからは低下傾向が続いた。平成 18 年に 6 年ぶりに上昇してからは 3 年連続上昇、平成 21 年は前年と同率であったが、平成 22 年は上昇し、平成 23 年は前年と同率、平成 24 年より 2 年連続で 0.02 ポイント上昇した。（統計表第 2 表、図 2）

年齢（5 歳階級）別にみると、20～29 歳の各階級では低下し、15～19 歳及び 30～49 歳の各階級では上昇した。最も合計特殊出生率が高いのは、30～34 歳となっている。（表 4-1、図 2）

出生順位別にみると、いずれも前年から上昇した（表 4-2）。

都道府県別にみると、沖縄県（1.94）、宮崎県（1.72）、島根県（1.65）、熊本県（1.65）、長崎県（1.64）等が高く、東京都（1.13）、京都府（1.26）、北海道（1.28）等大都市を含む地域が低くなっている（表 5、図 3）。

**表 4-1 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）**

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	22	23	24	25	23年-22年	24年-23年	25年-24年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.39	1.39	1.41	1.43	0.00	0.02	0.02
15～19 歳	0.0229	0.0185	0.0253	0.0232	0.0227	0.0219	0.0221	△ 0.0005	△ 0.0008	0.0002
20～24	0.3173	0.2022	0.1823	0.1781	0.1710	0.1607	0.1555	△ 0.0071	△ 0.0103	△ 0.0052
25～29	0.8897	0.5880	0.4228	0.4356	0.4349	0.4326	0.4298	△ 0.0007	△ 0.0023	△ 0.0028
30～34	0.4397	0.4677	0.4285	0.4789	0.4837	0.4916	0.5017	0.0048	0.0079	0.0101
35～39	0.0846	0.1311	0.1761	0.2318	0.2390	0.2526	0.2677	0.0072	0.0136	0.0151
40～44	0.0094	0.0148	0.0242	0.0387	0.0408	0.0448	0.0486	0.0021	0.0040	0.0038
45～49	0.0003	0.0004	0.0008	0.0010	0.0011	0.0012	0.0013	0.0001	0.0001	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

**表 4-2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移**

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	22	23	24	25	23年-22年	24年-23年	25年-24年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.39	1.39	1.41	1.43	0.00	0.02	0.02
第 1 子	0.7611	0.6607	0.6240	0.6835	0.6787	0.6781	0.6872	△ 0.0048	△ 0.0006	0.0091
第 2 子	0.6950	0.5209	0.4643	0.4956	0.4996	0.5095	0.5174	0.0040	0.0099	0.0079
第 3 子以上	0.3078	0.2410	0.1717	0.2082	0.2150	0.2176	0.2221	0.0068	0.0026	0.0045



図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

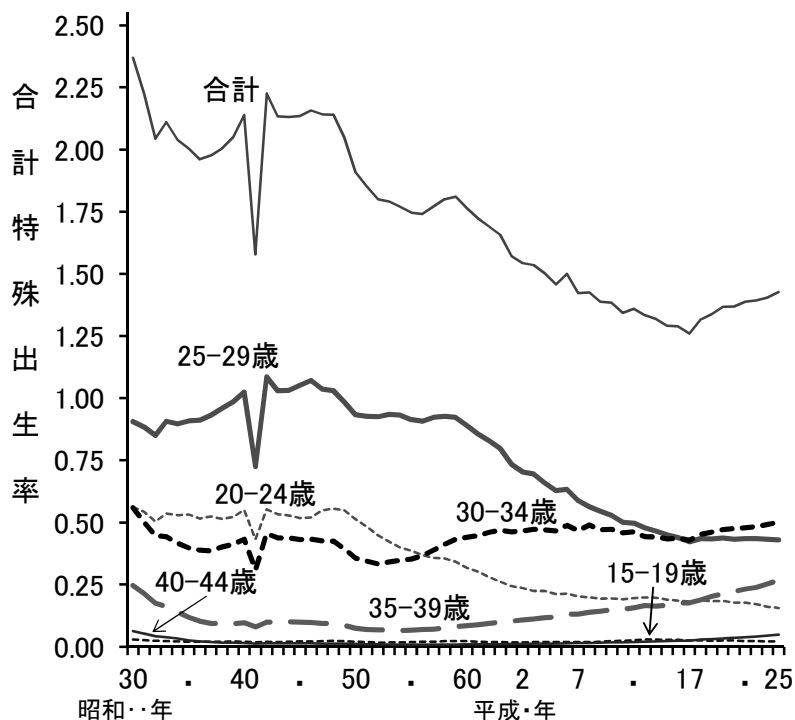


図3 都道府県別合計特殊出生率（平成25年）

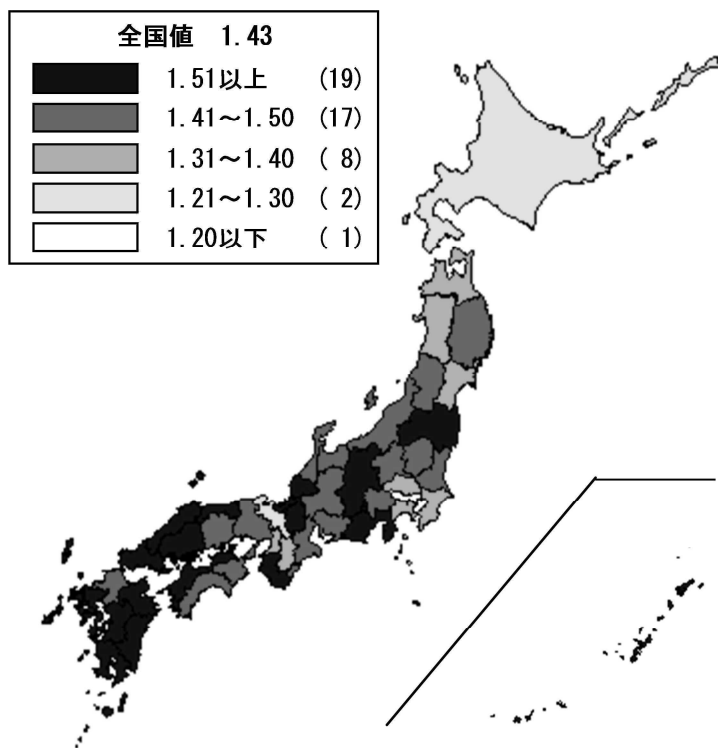


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成25年	平成24年
全 国	1.43	1.41
北 海 道	1.28	1.26
青 森 県	1.40	1.36
岩 手 県	1.46	1.44
宮 城 県	1.34	1.30
秋 田 県	1.35	1.37
山 形 県	1.47	1.44
福 島 県	1.53	1.41
茨 城 県	1.42	1.41
栃 木 県	1.43	1.43
群 馬 県	1.41	1.39
埼 玉 県	1.33	1.29
千 葉 県	1.33	1.31
東 京 都	1.13	1.09
神 奈 川 県	1.31	1.30
新 潟 県	1.44	1.43
富 山 県	1.43	1.42
石 川 県	1.49	1.47
福 山 県	1.60	1.60
山 梨 県	1.44	1.43
長 野 県	1.54	1.51
岐 阜 県	1.45	1.45
静 岡 県	1.53	1.52
愛 知 県	1.47	1.46
三 重 県	1.49	1.47
滋 賀 県	1.53	1.53
京 都 府	1.26	1.23
大 阪 府	1.32	1.31
兵 庫 県	1.42	1.40
奈 良 県	1.31	1.32
和 歌 山 県	1.52	1.53
鳥 取 県	1.62	1.57
島 根 県	1.65	1.68
岡 山 県	1.49	1.47
広 島 県	1.57	1.54
山 口 県	1.56	1.52
徳 島 県	1.43	1.44
香 川 県	1.59	1.56
愛 媛 県	1.52	1.52
高 知 県	1.47	1.43
福 岡 県	1.45	1.43
佐 賀 県	1.59	1.61
長 崎 県	1.64	1.63
熊 本 県	1.65	1.62
大 分 県	1.56	1.53
宮 崎 県	1.72	1.67
鹿 児 島 県	1.63	1.64
沖 縄 県	1.94	1.90

注：分母に用いた人口は、全国は各歳別日本人人口、都道府県は5歳階級別総人口。

### 3 死亡

#### (1) 死亡数・死亡率

平成25年の死亡数は126万8432人で、前年の125万6359人より1万2073人増加し、死亡率（人口千対）は10.1で、前年の10.0を上回った。

昭和30年以降は70万人前後で推移していたが、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成2年以降は80万人台、平成7年以降にはほぼ90万人台となり、平成15年からは100万人を超え、平成19年からは110万人台となり、平成23年以降は120万人台となっている。

昭和50年代後半から75歳以上の高齢者の死亡が増加しており、平成24年からは死亡数の7割を超えている。（図4）

年齢（5歳階級）別に死亡率（人口10万対）をみると、すべての各年齢階級で前年より低下している（表6-1）。

死亡率性比（男の死亡率/女の死亡率×100）を年齢（5歳階級）別にみると、全年齢階級で100以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。また、15～29歳と55～79歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている。（表6-2）

図4 死亡数及び死亡率の年次推移

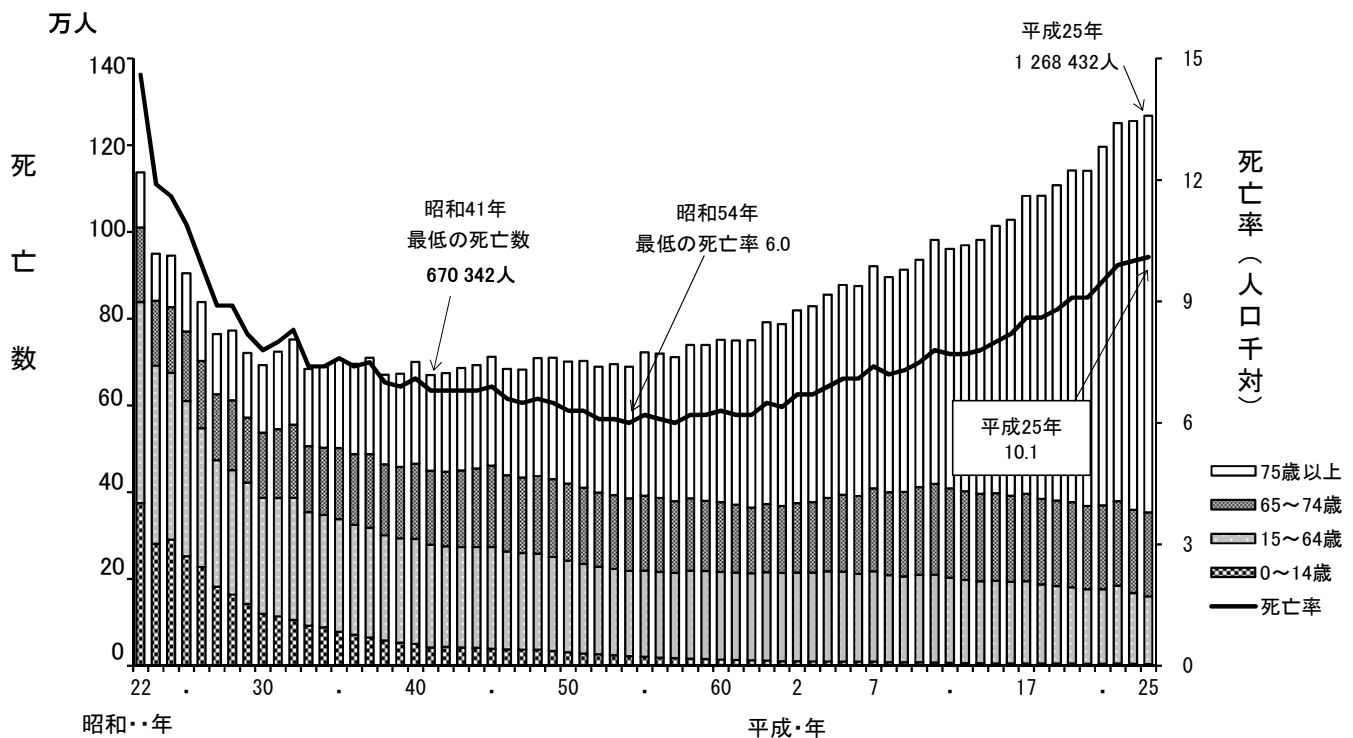


表 6-1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

年齢階級	死 亡 数			死 亡 率		
	平成25年	平成24年	対前年増減	平成25年	平成24年	対前年増減
総数	1 268 432	1 256 359	12 073	1 009.1	997.5	11.6
0～4歳	2 958	3 176	△ 218	57.0	60.8	△ 3.8
5～9	453	497	△ 44	8.5	9.3	△ 0.8
10～14	467	509	△ 42	8.1	8.7	△ 0.6
15～19	1 268	1 369	△ 101	21.2	22.9	△ 1.7
20～24	2 420	2 476	△ 56	40.3	40.7	△ 0.4
25～29	2 893	3 203	△ 310	43.4	46.8	△ 3.4
30～34	3 908	4 065	△ 157	52.6	53.2	△ 0.6
35～39	6 435	6 805	△ 370	72.2	73.4	△ 1.2
40～44	10 121	10 346	△ 225	106.3	111.0	△ 4.7
45～49	14 053	13 840	213	169.7	171.2	△ 1.5
50～54	20 577	20 770	△ 193	269.4	273.8	△ 4.4
55～59	31 360	33 216	△ 1 856	409.5	421.4	△ 11.9
60～64	62 928	67 491	△ 4 563	655.0	662.5	△ 7.5
65～69	82 495	80 161	2 334	953.3	982.2	△ 28.9
70～74	111 414	111 507	△ 93	1 473.3	1 514.2	△ 40.9
75～79	161 269	164 344	△ 3 075	2 568.8	2 637.5	△ 68.7
80～84	224 158	221 545	2 613	4 721.1	4 797.4	△ 76.3
85～89	244 047	234 928	9 119	8 363.5	8 472.0	△ 108.5
90～94	177 392	170 900	6 492	14 624.2	14 951.9	△ 327.7
95～99	85 283	83 679	1 604	24 936.5	25 357.3	△ 420.8
100歳以上	21 978	20 985	993	39 960.0	41 147.1	△ 1 187.1

注：総数には年齢不詳を含む。

表 6-2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率  
（人口10万対）・死亡率性比（平成25年）

年齢階級	死 亡 数		死 亡 率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	658 679	609 753	1 076.5	945.1	113.9
0～4歳	1 618	1 340	60.9	53.0	114.9
5～9	269	184	9.9	7.1	139.4
10～14	284	183	9.6	6.5	147.7
15～19	876	392	28.6	13.5	211.9
20～24	1 724	696	56.0	23.8	235.3
25～29	2 009	884	59.0	27.1	217.7
30～34	2 532	1 376	66.9	37.7	177.5
35～39	4 160	2 275	91.9	52.0	176.7
40～44	6 511	3 610	134.8	77.0	175.1
45～49	9 044	5 009	216.5	122.1	177.3
50～54	13 505	7 072	352.6	185.8	189.8
55～59	21 240	10 120	557.9	262.8	212.3
60～64	43 622	19 306	925.8	394.4	234.7
65～69	57 082	25 413	1 371.5	565.7	242.4
70～74	74 808	36 606	2 124.6	905.9	234.5
75～79	101 773	59 496	3 683.4	1 692.6	217.6
80～84	127 275	96 883	6 759.2	3 381.6	199.9
85～89	112 566	131 481	11 640.7	6 742.6	172.6
90～94	54 874	122 518	19 458.9	13 174.0	147.7
95～99	19 209	66 074	30 982.3	23 597.9	131.3
100歳以上	3 250	18 728	46 428.6	39 016.7	119.0

注：1）総数には年齢不詳を含む。

2）死亡率性比＝男の死亡率／女の死亡率×100

## (2) 死因

### ① 死因順位

平成 25 年の死亡数・死亡率（人口 10 万対）を死因順位別にみると、第 1 位は悪性新生物で 36 万 4721 人、290.1、第 2 位は心疾患 19 万 6547 人、156.4、第 3 位は肺炎 12 万 2880 人、97.8、第 4 位は脳血管疾患で、11 万 8286 人、94.1 となっている（表 7）。

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は、一貫して上昇を続け、昭和 56 年以降死因順位第 1 位となり、平成 25 年の全死亡者に占める割合は 28.8%となっている。全死亡者のおよそ 3.5 人に 1 人は悪性新生物で死亡したことになる。

心疾患は、昭和 60 年に脳血管疾患にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに上昇傾向であったが、平成 21 年に減少した。平成 22 年から再び上昇したが、平成 25 年は減少し、全死亡者に占める割合は 15.5%となっている。

肺炎は昭和 50 年に不慮の事故にかわって第 4 位となり、上昇と低下を繰り返しながら上昇傾向を示してきたが、平成 23 年には脳血管疾患にかわり第 3 位となり、平成 25 年の全死亡者に占める割合は 9.7%となっている。

脳血管疾患は、昭和 26 年に結核にかわって第 1 位となったが、昭和 45 年をピークに低下しはじめ、昭和 56 年には悪性新生物にかわり第 2 位となった。昭和 60 年には心疾患にかわって第 3 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに低下傾向であったが、平成 23 年には肺炎にかわり第 4 位となり、平成 25 年の全死亡者に占める割合は 9.3%となっている。（図 5、図 6）

図 5 主な死因別死亡数の割合（平成 25 年）

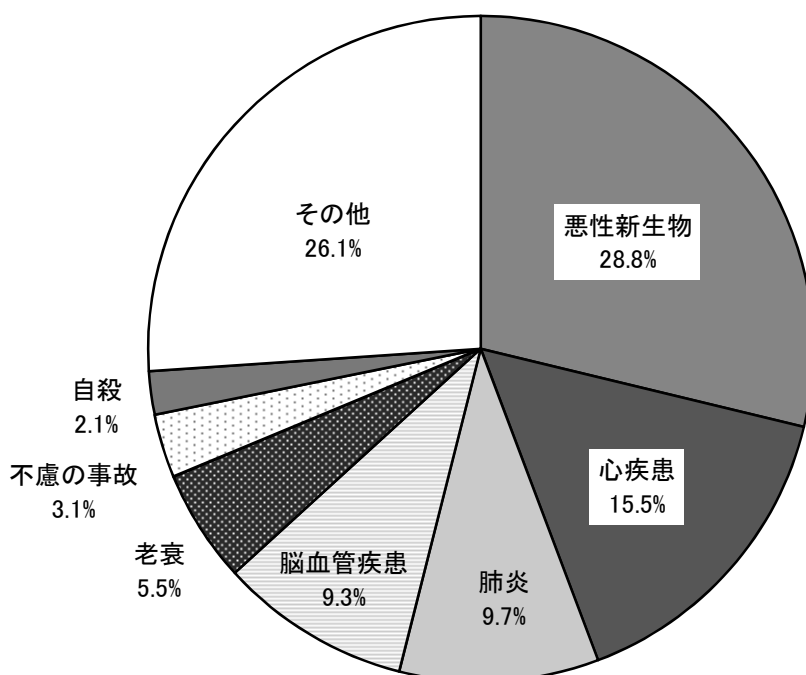


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成25年						平成24年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 268 432	1009.1	658 679	1076.5	609 753	945.1	1 256 359	997.5
悪 性 新 生 物	(1) 364 721	290.1	(1) 216 883	354.5	(1) 147 838	229.1	(1) 360 963	286.6
心 疾 患	(2) 196 547	156.4	(2) 91 333	149.3	(2) 105 214	163.1	(2) 198 836	157.9
肺 炎	(3) 122 880	97.8	(3) 66 307	108.4	(4) 56 573	87.7	(3) 123 925	98.4
脳 血 管 疾 患	(4) 118 286	94.1	(4) 56 678	92.6	(3) 61 608	95.5	(4) 121 602	96.5
老 衰	(5) 69 684	55.4	(7) 16 807	27.5	(5) 52 877	82.0	(5) 60 719	48.2
不慮の事故	(6) 39 435	31.4	(5) 22 998	37.6	(6) 16 437	25.5	(6) 41 031	32.6
自 殺	(7) 26 038	20.7	(6) 18 146	29.7	(8) 7 892	12.2	(7) 26 433	21.0
腎 不 全	(8) 25 074	19.9	(9) 11 984	19.6	(7) 13 090	20.3	(8) 25 107	19.9
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	(9) 16 408	13.1	(8) 13 037	21.3	(20) 3 371	5.2	(9) 16 402	13.0
大動脈瘤及び解離	(10) 16 073	12.8	(11) 8 384	13.7	(9) 7 689	11.9	(11) 15 831	12.6

注：1）（ ）内の数字は死因順位を示す。

2）男の10位は「肝疾患」で死亡数は10 341、死亡率は16.9である。

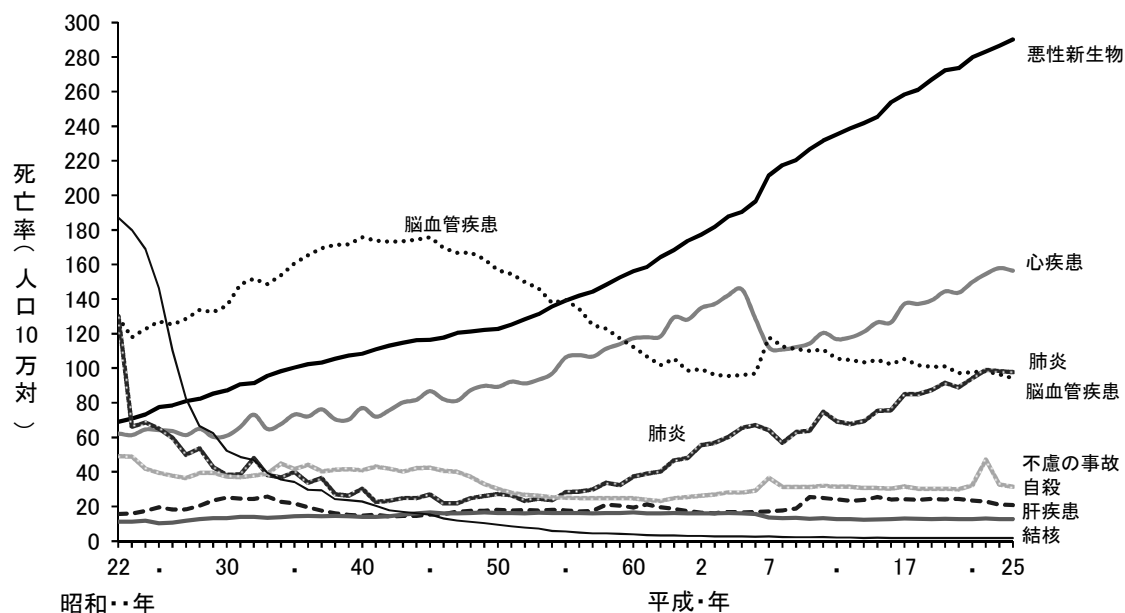
3）女の10位は「血管性及び詳細不明の認知症」で死亡数は7 281、死亡率は11.3である。

4）平成24年の10位は「肝疾患」で死亡数は15 980、死亡率は12.7である。

5）「結核」は死亡数が2 084、死亡率は1.7で第26位となっている。

6）「熱中症」は死亡数が1076、死亡率は0.9である。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1）平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。

2）平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

## ② 年齢別死因

平成 25 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別に構成割合で見ると、5～9 歳では不慮の事故及び悪性新生物が、10～14 歳では悪性新生物及び自殺が、15～29 歳では自殺及び不慮の事故が多く、30～49 歳では悪性新生物及び自殺が多く、年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が多くなり、男では 65～69 歳で、女では 55～59 歳でピークとなる。それ以降は、男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎の占める割合が、年齢が高くなるとともに多くなっている。男では 90 歳代で肺炎が最も多く、女では 85～94 歳で心疾患、95～99 歳で老衰が最も多い。100 歳以上では男女ともに老衰が最も多くなっている。（図 7-1）

また、1 歳未満の乳児死亡数は 9 年連続で 3000 人を下回り、その死因別構成割合をみると、男女とも「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多い（図 7-2）。

図 7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成 25 年）

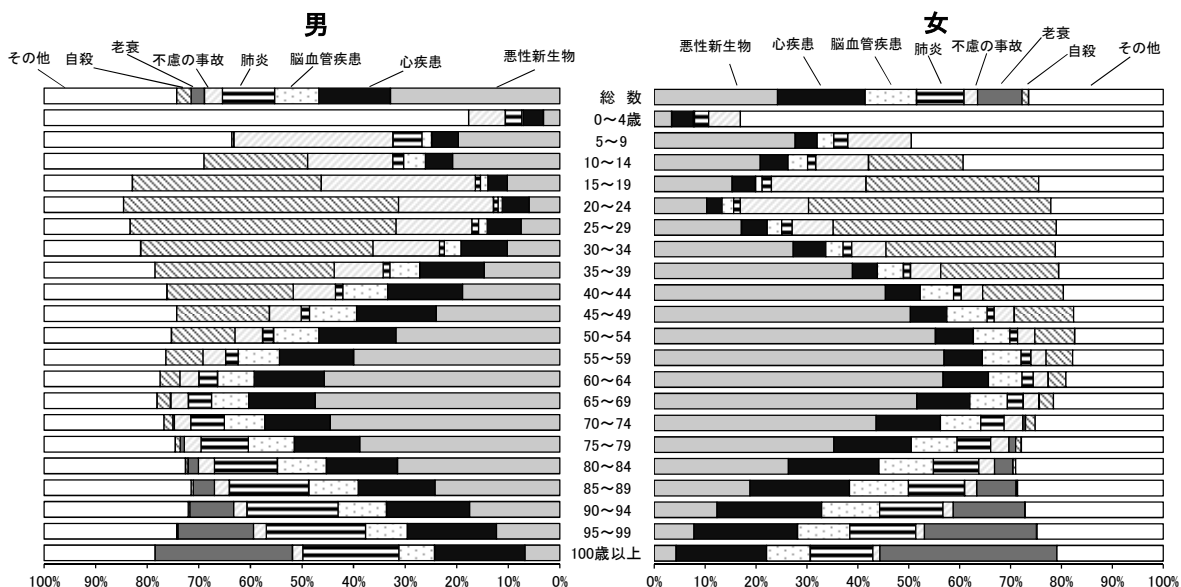
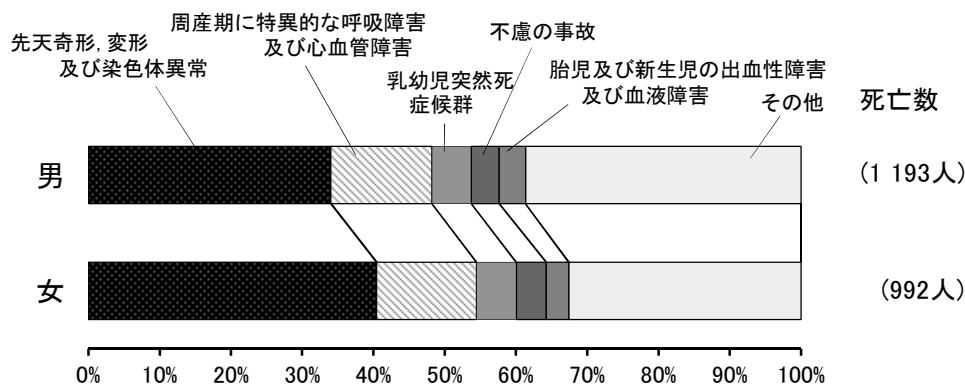


図 7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成 25 年）



### ③ 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、男の「肺」は上昇傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成25年の死亡数は5万2039人、死亡率（人口10万対）は85.1となっている。

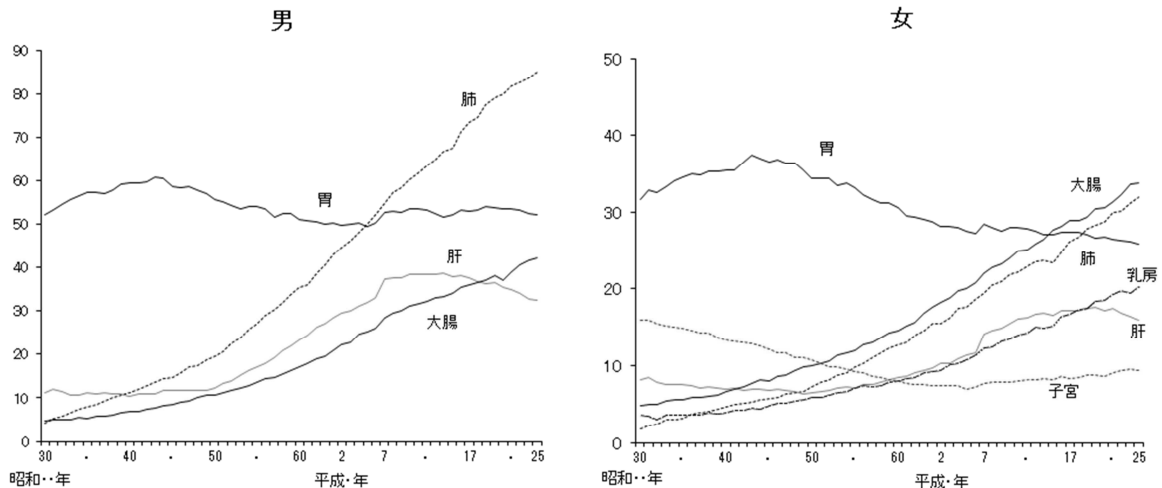
また、女の「大腸」と「肺」は上昇傾向が続いており、「大腸」は平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成25年の死亡数は2万1838人、死亡率（人口10万対）は33.8となっている。（表8、図8）

**表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）**

部位	昭和40年	50	60	平成7年	17	22	23	24	25
男									
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	32 943	32 785	32 206	31 963
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	21 510	20 972	20 060	19 808
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	50 395	50 782	51 372	52 039
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	23 921	24 862	25 529	25 800
女									
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	17 193	17 045	16 923	16 651
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	11 255	10 903	10 630	10 355
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	19 418	19 511	20 146	20 672
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	12 455	12 731	12 529	13 145
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	5 930	6 075	6 113	6 032
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	20 317	20 882	21 747	21 838
男									
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	53.5	53.3	52.5	52.2
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	34.9	34.1	32.7	32.4
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	81.8	82.6	83.8	85.1
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	38.9	40.5	41.6	42.2
女									
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	26.5	26.3	26.2	25.8
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	17.4	16.8	16.4	16.0
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	30.0	30.1	31.2	32.0
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	19.2	19.7	19.4	20.4
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	9.1	9.4	9.5	9.3
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	31.3	32.3	33.6	33.8

注：大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

**図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移**



## 4 婚姻

平成25年の婚姻件数は66万594組で、前年の66万8869組より8275組減少し、婚姻率（人口千対）は5.3で、前年と同率であった。

婚姻件数は昭和40年代後半には100万組を超え、婚姻率（人口千対）も10.0以上で、婚姻ブームを呈した。その後は組数・率とも低下傾向となり、昭和63年以降は増加に転じ、平成5年以降は増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移していた。平成14年から4年連続で減少、平成18年以降は増減をくりかえし、平成21年以降は3年連続で減少した。平成24年は増加したが、平成25年は再び減少した。（図9）

初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合を10年ごとにみると、ピーク時の年齢が上昇するとともに、その年齢が占める割合は低下し、高い年齢の割合が増加している。また、年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）をみると、前年に比べ20～24歳では低下しているが、25～39歳の各年齢階級で増加している。（表9、図10）

平成25年の平均初婚年齢は、夫30.9歳、妻29.3歳で、夫と妻ともに、前年より0.1歳上昇している。これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫・妻とも福島県で、夫29.8歳、妻28.2歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫32.2歳、妻30.4歳である。（表10-1、表10-2）

再婚の割合をみると、夫は19.2%で前年より0.2ポイント上昇し、妻は16.5%で前年より0.1ポイント上昇した（表11）。

図9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

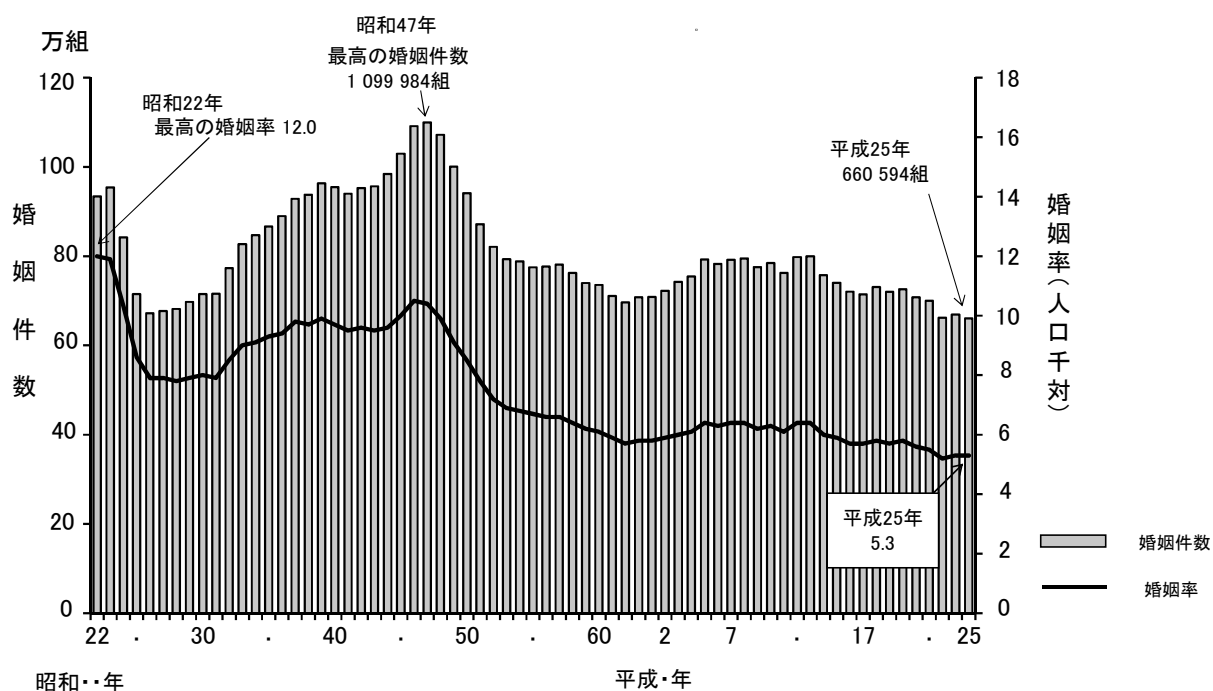
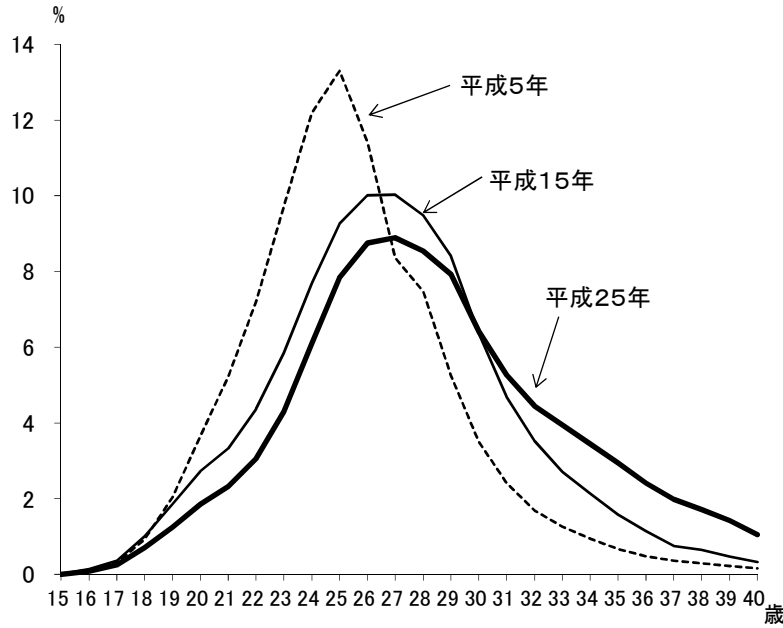




図10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表9 年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 5 年	52.07	72.61	16.72	3.35
15	36.24	60.82	23.29	6.28
21	32.03	60.63	27.99	9.16
22	32.02	60.37	28.46	9.72
23	29.48	58.04	27.80	9.68
24	28.70	59.27	29.15	10.50
25	27.86	59.41	29.76	11.04

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
平成 5 年	12.7	11.1
15	17.1	15.4
21	18.7	16.4
22	18.5	16.2
23	18.8	16.4
24	19.0	16.4
25	19.2	16.5

表10-1 平均初婚年齢の年次推移

		夫	妻
		歳	歳
平成	5 年	28.4	26.1
	15	29.4	27.6
	21	30.4	28.6
	22	30.5	28.8
	23	30.7	29.0
	24	30.8	29.2
	25	30.9	29.3

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢（平成25年）

都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	30.4	29.1
青森	30.5	28.8
岩手	30.3	28.6
宮城	30.7	29.0
秋田	30.7	28.8
山形	30.5	28.8
福島	29.8	28.2
茨城	30.7	28.9
栃木	30.7	28.9
群馬	30.6	28.9
埼玉	31.3	29.4
千葉	31.3	29.5
東京都	32.2	30.4
神奈川県	31.7	29.9
新潟	30.6	28.9
富山	30.5	29.1
石川	30.5	29.0
福井	30.4	28.7
山梨	30.8	29.1
長野	31.2	29.3
岐阜	30.7	28.8
静岡県	30.8	29.0
愛知県	30.7	28.8
三重	30.5	28.7
滋賀	30.5	28.9
京都	31.3	29.6
大阪	30.8	29.4
兵庫県	30.7	29.2
奈良	30.8	29.3
和歌山	30.2	28.6
鳥取	30.7	28.9
島根	30.5	29.0
岡山	30.1	28.6
広島	30.4	28.9
山口	30.0	28.6
徳島	30.2	28.9
香川	30.4	28.9
愛媛	30.1	28.6
高知	30.6	29.3
福岡	30.5	29.2
佐賀	30.0	28.6
長崎	30.2	29.0
熊本	30.1	28.8
大分	30.2	28.9
宮崎	30.0	28.7
鹿児島	30.3	28.9
沖縄	30.1	28.9

注：平成25年に結婚生活に入ったもの。

## 5 離婚

平成25年の離婚件数は23万384組で、前年の23万5406組より4022組減少した。

離婚件数は昭和39年以降毎年増加し、昭和46年には10万組を超え、その後も増加を続けたが、昭和59年から減少に転じた。平成に入ってから再び増加傾向に転じたものの、平成14年をピークに減少傾向が続いている。(図11)

離婚率(人口千対)は1.84で、前年の1.87を下回った(統計表第2表)。

離婚件数を同居期間別にみると、30年未満で減少し、30年以上の同居期間で増加している(表12、図12)。

図11 離婚件数及び離婚率の年次推移

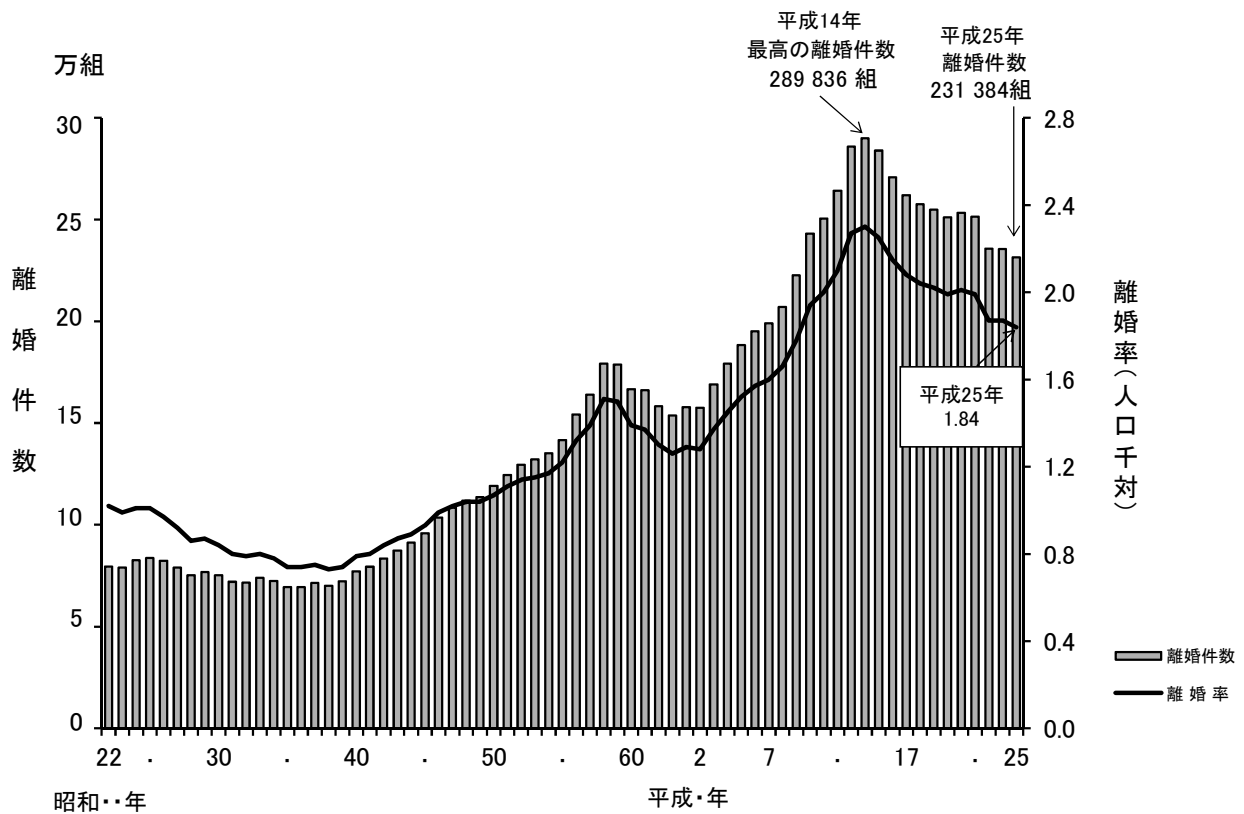
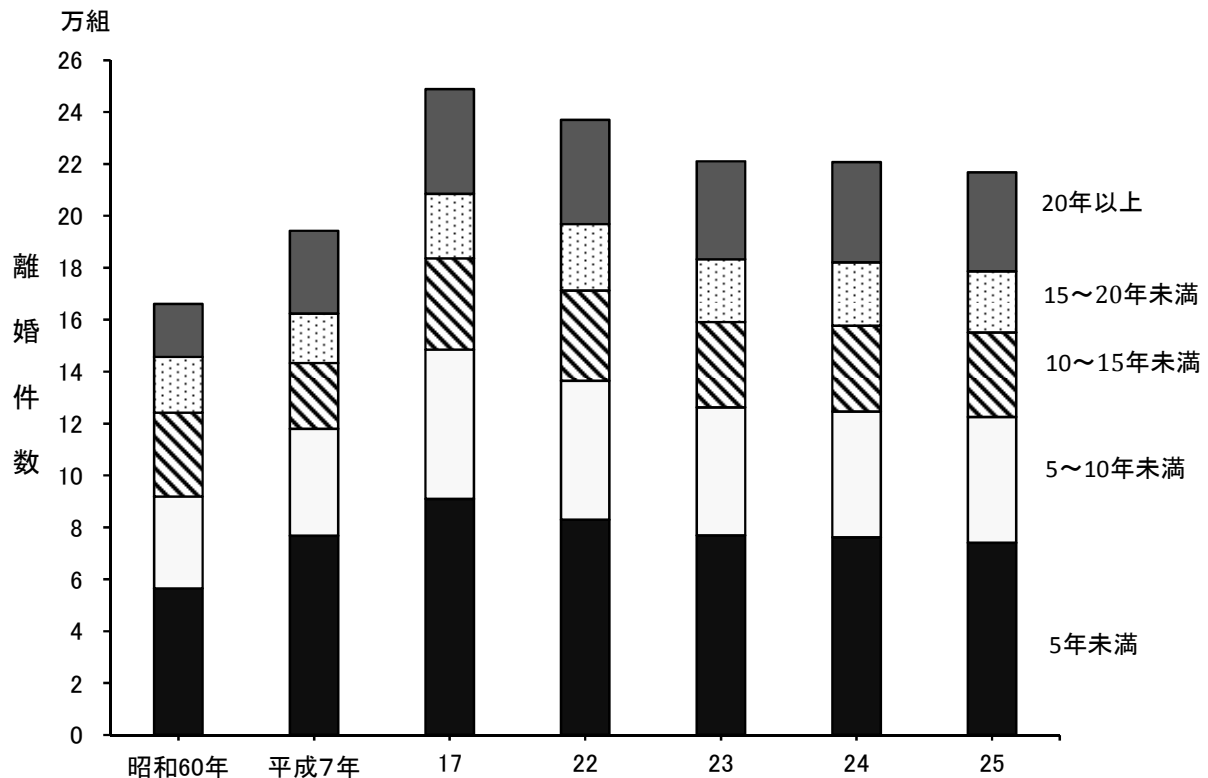


表 12 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和60年	平成7年	17	22	23	24	25	対前年(25年-24年)	
								増減数	増減率
総数	166 640	199 016	261 917	251 378	235 719	235 406	231 384	△ 4 022	△ 1.7
5年未満	56 442	76 710	90 885	82 891	76 893	76 128	74 034	△ 2 094	△ 2.8
1年未満	12 656	14 893	16 558	15 697	14 594	14 459	14 335	△ 124	△ 0.9
1～2	12 817	18 081	20 159	18 796	16 935	16 810	16 375	△ 435	△ 2.6
2～3	11 710	16 591	19 435	17 735	16 563	16 010	15 422	△ 588	△ 3.7
3～4	10 434	14 576	18 144	16 193	14 989	14 961	14 532	△ 429	△ 2.9
4～5	8 825	12 569	16 589	14 470	13 812	13 888	13 370	△ 518	△ 3.7
5～10年未満	35 338	41 185	57 562	53 449	49 218	48 437	48 421	△ 16	△ 0.0
10～15年未満	32 310	25 308	35 093	34 862	32 978	33 047	32 555	△ 492	△ 1.5
15～20年未満	21 528	19 153	24 885	25 618	24 133	24 463	23 660	△ 803	△ 3.3
20年以上	20 434	31 877	40 395	40 084	37 791	38 557	38 034	△ 523	△ 1.4
20～25年未満	12 706	17 847	18 401	17 413	16 497	17 324	17 045	△ 279	△ 1.6
25～30	4 827	8 684	10 747	10 749	10 137	10 149	9 678	△ 471	△ 4.6
30～35	1 793	3 506	6 453	5 729	5 244	5 163	5 204	41	0.8
35年以上	1 108	1 840	4 794	6 193	5 913	5 921	6 107	186	3.1

注：総数には同居期間不詳を含む。

図 12 同居期間別離婚件数の年次推移





# 統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次		出生数	死亡数	(再掲)		自然増減数
				乳児死亡数	新生児死亡数	
1899	明治 32年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注： \*印は概数である。

年 次		出 生 数	死 亡 数	( 再 掲 )		自然増減数
				乳児死亡数	新生児死亡数	
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元 年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
2007	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
2008	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
2009	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	22	1 071 304	1 197 012	2 450	1 167	△ 125 708
2011	23	1 050 806	1 253 066	2 463	1 147	△ 202 260
2012	24	1 037 231	1 256 359	2 299	1 065	△ 219 128
2013	* 25	1 029 800	1 268 432	2 185	1 026	△ 238 632

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

年次		死産数			2) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32年	135 727	…	…	…	297 372	66 545	…
1900	33	137 987	…	…	…	346 528	63 828	…
1901	34	155 489	…	…	…	378 457	63 442	…
1902	35	157 708	…	…	…	394 165	64 139	…
1903	36	153 920	…	…	…	370 961	65 392	…
1904	37	147 058	…	…	…	398 930	63 913	…
1905	38	142 092	…	…	…	350 898	60 061	…
1906	39	149 731	…	…	…	352 857	65 398	…
1907	40	158 814	…	…	…	432 949	61 058	…
1908	41	162 676	…	…	…	461 254	60 226	…
1909	42	161 576	…	…	…	437 882	58 936	…
1910	43	157 392	…	…	…	441 222	59 432	…
1911	44	155 319	…	…	…	433 117	58 067	…
1912	大正 元年	147 545	…	…	…	430 422	59 143	…
1913	2	147 769	…	…	…	431 287	59 536	…
1914	3	145 692	…	…	…	452 932	59 992	…
1915	4	141 301	…	…	…	445 210	59 943	…
1916	5	139 998	…	…	…	433 680	60 254	…
1917	6	140 328	…	…	…	447 970	55 812	…
1918	7	142 507	…	…	…	500 580	56 474	…
1919	8	132 939	…	…	…	480 136	56 812	…
1920	9	144 038	…	…	…	546 207	55 511	…
1921	10	138 301	…	…	…	519 217	53 402	…
1922	11	132 244	…	…	…	515 916	53 053	…
1923	12	133 863	…	…	…	512 689	51 212	…
1924	13	125 839	…	…	…	513 130	51 770	…
1925	14	124 403	…	…	…	521 438	51 687	…
1926	昭和 元年	124 038	…	…	…	502 847	50 119	…
1927	2	116 922	…	…	…	487 850	50 626	…
1928	3	120 191	…	…	…	499 555	49 119	…
1929	4	116 971	…	…	…	497 410	51 222	…
1930	5	117 730	…	…	…	506 674	51 259	…
1931	6	116 509	…	…	…	496 574	50 609	…
1932	7	119 579	…	…	…	515 270	51 437	…
1933	8	114 138	…	…	…	486 058	49 282	…
1934	9	113 043	…	…	…	512 654	48 610	…
1935	10	115 593	…	…	…	556 730	48 528	…
1936	11	111 056	…	…	…	549 116	46 167	…
1937	12	111 485	…	…	…	674 500	46 500	…
1938	13	99 528	…	…	…	538 831	44 656	…
1939	14	98 349	…	…	…	554 321	45 970	…
1940	15	102 034	…	…	…	666 575	48 556	…
1941	16	103 400	…	…	…	791 625	49 424	…
1942	17	95 448	…	…	…	679 044	46 268	…
1943	18	92 889	…	…	…	743 842	49 705	…
1947	22	123 837	…	…	…	934 170	79 551	…
1948	23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	…	953 999	79 032	…
1949	24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	…	842 170	82 575	…
1950	25	216 974	106 594	110 380	…	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	…	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	…	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	…	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	…	697 809	76 759	79 776

注： \*印は概数である。

- 1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。
- 2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
- 3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。



年 次		死 産 数			2) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	(参考) 3) 周産期死亡数
		総 数	自然死産	人工死産				
1955	昭和 30 年	183 265	85 159	98 106	…	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	…	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	…	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	…	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	…	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	…	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	…	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	…	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	…	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	…	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	…	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	…	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	…	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	…	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	…	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	…	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	…	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	…	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	…	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	…	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	…	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	…	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	…	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	…	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成 元 年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420
2007	19	29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306
2008	20	28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178
2009	21	27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353	3 096
2010	22	26 560	12 245	14 315	4 515	700 214	251 378	3 065
2011	23	25 751	11 940	13 811	4 315	661 895	235 719	2 961
2012	24	24 800	11 448	13 352	4 133	668 869	235 406	2 759
2013	* 25	24 093	10 934	13 159	3 863	660 594	231 384	2 652

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-1)

年次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
1899	明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1	...	...
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5	...	...
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8	...	...
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5	...	...
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6	...	...
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6	...	...
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1	...	...
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0	...	...
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6	...	...
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1	...	...
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1	...	...
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2	...	...
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6	...	...
1912	大正 元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3	...	...
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6	...	...
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6	...	...
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8	...	...
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0	...	...
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9	...	...
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7	...	...
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5	...	...
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4	...	...
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0	...	...
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9	...	...
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5	...	...
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2	...	...
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3	...	...
1926	昭和 元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7	...	...
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7	...	...
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3	...	...
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3	...	...
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4	...	...
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5	...	...
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9	...	...
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1	...	...
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4	...	...
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1	...	...
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2	...	...
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6	...	...
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1	...	...
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2	...	...
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0	...	...
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4	...	...
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0	...	...
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6	...	...
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	...	...
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： \*印は概数である。

1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
1955	昭和 30 年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成 元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
2008	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
2009	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
2011	23	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6	23.9	11.1	12.8
2012	24	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6
2013	* 25	8.2	10.1	2.1	1.0	△ 1.9	22.9	10.4	12.5

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-2)

年次	2) 周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率	3) 年齢調整死亡率 (人口千対)		4) (参考) 周産期死亡率 (出生千対)	
					男	女		
					1899	明治 32 年	...	6.9
1900	33	...	7.9	1.46	...	...	...	
1901	34	...	8.5	1.43	...	...	...	
1902	35	...	8.8	1.43	...	...	...	
1903	36	...	8.1	1.44	...	...	...	
1904	37	...	8.6	1.39	...	...	...	
1905	38	...	7.5	1.29	...	...	...	
1906	39	...	7.5	1.39	...	...	...	
1907	40	...	9.1	1.29	...	...	...	
1908	41	...	9.6	1.26	...	...	...	
1909	42	...	9.0	1.21	...	...	...	
1910	43	...	9.0	1.21	...	...	...	
1911	44	...	8.7	1.16	...	...	...	
1912	大正 元年	...	8.5	1.17	...	...	...	
1913	2	...	8.4	1.16	...	...	...	
1914	3	...	8.7	1.15	...	...	...	
1915	4	...	8.4	1.14	...	...	...	
1916	5	...	8.1	1.13	...	...	...	
1917	6	...	8.3	1.03	...	...	...	
1918	7	...	9.1	1.03	...	...	...	
1919	8	...	8.7	1.03	...	...	...	
1920	9	...	9.8	0.99	...	...	...	
1921	10	...	9.2	0.94	...	...	...	
1922	11	...	9.0	0.92	...	...	...	
1923	12	...	8.8	0.88	...	...	...	
1924	13	...	8.7	0.88	...	...	...	
1925	14	...	8.7	0.87	...	...	...	
1926	昭和 元年	...	8.3	0.83	...	...	...	
1927	2	...	7.9	0.82	...	...	...	
1928	3	...	8.0	0.78	...	...	...	
1929	4	...	7.8	0.81	...	...	...	
1930	5	...	7.9	0.80	...	...	...	
1931	6	...	7.6	0.77	...	...	...	
1932	7	...	7.8	0.77	...	...	...	
1933	8	...	7.2	0.73	...	...	...	
1934	9	...	7.5	0.71	...	...	...	
1935	10	...	8.0	0.70	...	...	...	
1936	11	...	7.8	0.66	...	...	...	
1937	12	...	9.5	0.66	...	...	...	
1938	13	...	7.6	0.63	...	...	...	
1939	14	...	7.8	0.64	...	...	...	
1940	15	...	9.3	0.68	...	...	...	
1941	16	...	11.0	0.69	...	...	...	
1942	17	...	9.4	0.64	...	...	...	
1943	18	...	10.2	0.68	...	...	...	
1947	22	...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...
1948	23	...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...
1949	24	...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...
1950	25	...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注：\*印は概数である。

- 2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。
- 3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。
- 4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

年 次		2)		離婚率	合計特殊 出生率	3)		(参考) 4)
		周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人 口 千 対)			年齢調整死亡率 (人 口 千 対)		周産期死亡率 (出生千対)
						男	女	
1955	昭和 30 年	...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元 年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	19	4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0
2008	20	4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9
2009	21	4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9
2010	22	4.2	5.5	1.99	1.39	5.4	2.7	2.9
2011	23	4.1	5.2	1.87	1.39	5.5	2.9	2.8
2012	24	4.0	5.3	1.87	1.41	5.2	2.7	2.7
2013	* 25	3.7	5.3	1.84	1.43	...	...	2.6

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	17	22	23	24	*25
総数 <sup>1)</sup>	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 071 304	1 050 806	1 037 231	1 029 800
～14歳	23	37	42	51	44	59	51
15～19	17 854	16 075	16 531	13 495	13 274	12 711	12 912
20～24	247 341	193 514	128 135	110 956	104 059	95 805	91 247
25～29	682 885	492 714	339 328	306 910	300 384	292 464	282 790
30～34	381 466	371 773	404 700	384 385	373 490	367 715	365 400
35～39	93 501	100 053	153 440	220 101	221 272	225 480	229 736
40～44	8 224	12 472	19 750	34 609	37 437	42 031	46 547
45～49	244	414	564	773	802	928	1 069
50歳以上	1	-	34	19	41	32	47

注： \*印は概数である。

1)総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	17	22	23	24	*25
総数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 071 304	1 050 806	1 037 231	1 029 800
第1子	602 005	567 530	512 412	509 736	494 712	484 710	481 410
第2子	562 920	428 394	399 307	390 212	383 666	382 461	379 460
第3子以上	266 652	191 140	150 811	171 356	172 428	170 060	168 930

注： \*印は概数である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総数（3-1）

年齢	昭和60年	平成7年	17	22	23	24	* 25
総数 <sup>1)</sup>	625.5	741.9	858.8	947.1	993.1	997.5	1 009.1
0～4歳	145.3	118.3	73.9	64.4	68.9	60.8	57.0
5～9	21.1	19.0	11.1	8.6	13.8	9.3	8.5
10～14	16.5	15.9	9.8	9.4	12.4	8.7	8.1
15～19	47.2	39.6	27.6	23.6	29.0	22.9	21.2
20～24	57.1	52.1	46.9	43.7	48.0	40.7	40.3
25～29	60.9	53.4	51.5	48.0	52.6	46.8	43.4
30～34	74.5	64.4	62.0	58.9	62.3	53.2	52.6
35～39	104.2	88.7	86.9	78.0	83.4	73.4	72.2
40～44	175.6	143.7	128.5	117.5	122.2	111.0	106.3
45～49	277.1	228.9	205.9	182.4	191.1	171.2	169.7
50～54	455.6	371.5	331.3	289.3	297.3	273.8	269.4
55～59	654.3	565.3	484.9	454.3	454.2	421.4	409.5
60～64	948.7	917.4	730.1	657.4	682.1	662.5	655.0
65～69	1 554.0	1 397.9	1 088.9	1 009.5	1 049.5	982.2	953.3
70～74	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 577.8	1 581.8	1 514.2	1 473.3
75～79	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 730.8	2 739.4	2 637.5	2 568.8
80～84	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 841.7	4 912.1	4 797.4	4 721.1
85～89	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 473.8	8 513.3	8 472.0	8 363.5
90～94 <sup>2)</sup>	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 806.4	15 016.1	14 951.9	14 624.2
95～99	…	…	23 894.8	25 328.5	25 241.5	25 357.3	24 936.5
100歳以上	…	…	37 771.1	39 892.0	41 640.4	41 147.1	39 960.0

注：\*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	22	23	24	* 25
総 数 <sup>1)</sup>	690.6	822.9	949.4	1 029.2	1 068.4	1 068.9	1 076.5
0～4歳	158.8	129.0	80.6	69.6	69.6	62.8	60.9
5～9	26.6	22.6	13.5	9.2	14.5	10.6	9.9
10～14	19.9	18.8	11.8	11.6	14.7	10.2	9.6
15～19	69.8	55.4	36.4	30.4	36.6	30.0	28.6
20～24	81.4	73.1	62.4	60.8	62.9	57.1	56.0
25～29	80.7	73.3	70.1	66.2	67.0	62.4	59.0
30～34	93.3	81.7	80.5	76.0	78.2	68.1	66.9
35～39	131.9	113.5	113.1	98.8	102.6	93.5	91.9
40～44	227.7	183.8	169.3	151.3	153.1	141.0	134.8
45～49	371.7	295.2	275.6	238.2	239.9	221.2	216.5
50～54	624.6	498.6	448.1	384.5	391.4	358.5	352.6
55～59	906.7	784.7	675.9	631.5	615.5	577.4	557.9
60～64	1 314.9	1 311.6	1 046.2	934.9	960.1	945.9	925.8
65～69	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 460.9	1 513.1	1 419.0	1 371.5
70～74	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 270.9	2 263.2	2 174.3	2 124.6
75～79	6 581.0	5 461.1	4 401.7	3 959.4	3 939.6	3 792.2	3 683.4
80～84	10 799.1	9 484.5	7 328.5	7 046.3	7 067.4	6 886.1	6 759.2
85～89	18 136.2	15 648.6	12 638.9	12 030.9	11 956.1	11 850.6	11 640.7
90～94 <sup>2)</sup>	25 429.3	26 734.7	20 217.3	20 252.2	20 409.5	20 198.1	19 458.9
95～99	…	…	30 937.2	31 876.6	31 778.0	32 345.0	30 982.3
100歳以上	…	…	46 157.9	48 813.8	50 600.0	45 628.6	46 428.6

注：\*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。



第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	22	23	24	* 25
総 数 <sup>1)</sup>	562.7	664.0	772.3	869.2	921.6	929.7	945.1
0～4歳	131.2	107.2	66.9	58.8	68.2	58.7	53.0
5～9	15.3	15.2	8.6	8.1	13.0	7.8	7.1
10～14	13.1	12.9	7.8	7.1	10.0	7.3	6.5
15～19	23.7	22.9	18.4	16.4	20.8	15.4	13.5
20～24	31.8	30.2	30.5	25.7	32.4	23.5	23.8
25～29	40.7	32.8	32.2	29.2	37.6	30.5	27.1
30～34	55.6	46.6	43.1	41.2	45.8	37.8	37.7
35～39	76.0	63.5	60.2	56.5	63.6	52.6	52.0
40～44	124.1	103.2	86.9	82.8	90.5	80.2	77.0
45～49	184.6	162.1	135.8	125.7	141.5	120.4	122.1
50～54	289.7	246.8	214.9	194.1	202.9	188.7	185.8
55～59	414.9	353.7	297.4	279.7	295.0	267.2	262.8
60～64	663.0	548.9	430.7	389.6	414.2	389.6	394.4
65～69	1 106.4	864.2	659.0	596.3	624.9	579.7	565.7
70～74	1 998.4	1 513.4	1 130.4	980.2	990.9	940.0	905.9
75～79	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 787.9	1 811.2	1 737.1	1 692.6
80～84	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 434.2	3 520.6	3 436.3	3 381.6
85～89	13 067.1	10 072.4	7 364.1	6 909.3	6 928.3	6 854.8	6 742.6
90～94 <sup>2)</sup>	22 490.8	19 574.7	13 480.3	13 117.6	13 372.7	13 368.5	13 174.0
95～99	…	…	22 176.4	23 811.1	23 648.8	23 804.4	23 597.9
100歳以上	…	…	36 310.6	38 518.0	41 337.5	40 434.1	39 016.7

注：\*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別（2-1）

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成25年	平成24年	*平成25年	平成24年	*平成25年
	総 数	1 268 432	1 256 359	1 009.1	997.5	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	25 608	26 739	20.4	21.2	2.0
01100	腸管感染症	2 583	2 714	2.1	2.2	0.2
01200	結 核	2 084	2 110	1.7	1.7	0.2
01201	呼吸器結核	1 834	1 857	1.5	1.5	0.1
01202	その他の結核	250	253	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	11 127	11 486	8.9	9.1	0.9
01400	ウイルス肝炎	4 880	5 240	3.9	4.2	0.4
01401	B型ウイルス肝炎	449	481	0.4	0.4	0.0
01402	C型ウイルス肝炎	4 157	4 484	3.3	3.6	0.3
01403	その他のウイルス肝炎	274	275	0.2	0.2	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	45	50	0.0	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 889	5 139	3.9	4.1	0.4
02000	新 生 物	375 703	371 909	298.9	295.3	29.6
02100	悪性新生物	364 721	360 963	290.1	286.6	28.8
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	7 175	7 167	5.7	5.7	0.6
02102	食道の悪性新生物	11 533	11 592	9.2	9.2	0.9
02103	胃の悪性新生物	48 614	49 129	38.7	39.0	3.8
02104	結腸の悪性新生物	32 668	32 177	26.0	25.5	2.6
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	14 970	15 099	11.9	12.0	1.2
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	30 163	30 690	24.0	24.4	2.4
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	18 217	18 209	14.5	14.5	1.4
02108	膵の悪性新生物	30 648	29 916	24.4	23.8	2.4
02109	喉頭の悪性新生物	963	953	0.8	0.8	0.1
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	72 711	71 518	57.8	56.8	5.7
02111	皮膚の悪性新生物	1 525	1 556	1.2	1.2	0.1
02112	乳房の悪性新生物	13 227	12 617	10.5	10.0	1.0
02113	子宮の悪性新生物 <sup>1)</sup>	6 032	6 113	9.3	9.5	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 <sup>1)</sup>	4 717	4 688	7.3	7.3	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 <sup>2)</sup>	11 559	11 143	18.9	18.2	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	7 684	7 299	6.1	5.8	0.6

注：\*印は概数である。

1) 女性人口10万に対する率である。

2) 男性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成25年	平成24年	*平成25年	平成24年	
02117	中枢神経系の悪性新生物	2 214	2 201	1.8	1.7	0.2
02118	悪性リンパ腫	11 295	10 831	9.0	8.6	0.9
02119	白 血 病	8 128	7 900	6.5	6.3	0.6
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 162	4 121	3.3	3.3	0.3
02121	その他の悪性新生物	26 516	26 044	21.1	20.7	2.1
02200	その他の新生物	10 982	10 946	8.7	8.7	0.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 663	2 642	2.1	2.1	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	8 319	8 304	6.6	6.6	0.7
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 498	4 459	3.6	3.5	0.4
03100	貧 血	2 004	1 924	1.6	1.5	0.2
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 494	2 535	2.0	2.0	0.2
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	21 418	22 168	17.0	17.6	1.7
04100	糖 尿 病	13 783	14 486	11.0	11.5	1.1
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	7 635	7 682	6.1	6.1	0.6
05000	精神及び行動の障害	11 912	10 768	9.5	8.5	0.9
05100	血管性及び詳細不明の認知症	9 975	8 888	7.9	7.1	0.8
05200	その他の精神及び行動の障害	1 937	1 880	1.5	1.5	0.2
06000	神経系の疾患	26 850	24 361	21.4	19.3	2.1
06100	髄 膜 炎	287	322	0.2	0.3	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 297	2 163	1.8	1.7	0.2
06300	パーキンソン病	6 570	6 076	5.2	4.8	0.5
06400	アルツハイマー病	8 178	6 873	6.5	5.5	0.6
06500	その他の神経系の疾患	9 518	8 927	7.6	7.1	0.8
07000	眼及び付属器の疾患	7	2	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	18	12	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	345 385	350 912	274.8	278.6	27.2
09100	高血圧性疾患	7 161	7 261	5.7	5.8	0.6
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 657	3 819	2.9	3.0	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	3 504	3 442	2.8	2.7	0.3
09200	心疾患（高血圧性を除く）	196 547	198 836	156.4	157.9	15.5
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 328	2 493	1.9	2.0	0.2
09202	急性心筋梗塞	39 918	42 107	31.8	33.4	3.1
09203	その他の虚血性心疾患	34 794	35 472	27.7	28.2	2.7
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	10 132	9 913	8.1	7.9	0.8

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別（2-2）

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成25年	平成24年	*平成25年	平成24年	
09205	心 筋 症	3 801	3 737	3.0	3.0	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	28 660	28 378	22.8	22.5	2.3
09207	心 不 全	71 881	71 616	57.2	56.9	5.7
09208	その他の心疾患	5 033	5 120	4.0	4.1	0.4
09300	脳血管疾患	118 286	121 602	94.1	96.5	9.3
09301	くも膜下出血	12 476	13 004	9.9	10.3	1.0
09302	脳内出血	32 947	33 605	26.2	26.7	2.6
09303	脳 梗 塞	69 928	71 962	55.6	57.1	5.5
09304	その他の脳血管疾患	2 935	3 031	2.3	2.4	0.2
09400	大動脈瘤及び解離	16 073	15 831	12.8	12.6	1.3
09500	その他の循環器系疾患	7 318	7 382	5.8	5.9	0.6
10000	呼吸器系の疾患	203 449	201 798	161.8	160.2	16.0
10100	インフルエンザ	1 514	1 275	1.2	1.0	0.1
10200	肺 炎	122 880	123 925	97.8	98.4	9.7
10300	急性気管支炎	516	564	0.4	0.4	0.0
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 408	16 402	13.1	13.0	1.3
10500	喘 息	1 726	1 874	1.4	1.5	0.1
10600	その他の呼吸器系の疾患	60 405	57 758	48.1	45.9	4.8
11000	消化器系の疾患	47 444	47 255	37.7	37.5	3.7
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2 804	3 132	2.2	2.5	0.2
11200	ヘルニア及び腸閉塞	6 732	6 624	5.4	5.3	0.5
11300	肝 疾 患	15 904	15 980	12.7	12.7	1.3
11301	肝 硬 変（アルコール性を除く）	7 951	8 155	6.3	6.5	0.6
11302	その他の肝疾患	7 953	7 825	6.3	6.2	0.6
11400	その他の消化器系の疾患	22 004	21 519	17.5	17.1	1.7
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 460	1 514	1.2	1.2	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 805	5 768	4.6	4.6	0.5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	36 347	35 782	28.9	28.4	2.9
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	4 343	4 153	3.5	3.3	0.3
14200	腎 不 全	25 074	25 107	19.9	19.9	2.0
14201	急性腎不全	3 860	3 896	3.1	3.1	0.3
14202	慢性腎不全	15 610	15 484	12.4	12.3	1.2
14203	詳細不明の腎不全	5 604	5 727	4.5	4.5	0.4
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	6 930	6 522	5.5	5.2	0.5

注：1)女性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合 (%)
		*平成25年	平成24年	*平成25年	平成24年	
15000	妊娠, 分娩及び産じょく <sup>1)</sup>	41	50	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	565	601	0.4	0.5	0.0
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	60	59	0.0	0.0	0.0
16200	出産外傷	6	8	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	316	326	0.3	0.3	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	34	38	0.0	0.0	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	78	81	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	71	89	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 074	2 041	1.6	1.6	0.2
17100	神経系の先天奇形	91	99	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	1 011	1 004	0.8	0.8	0.1
17201	心臓の先天奇形	701	731	0.6	0.6	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	310	273	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	106	117	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	550	501	0.4	0.4	0.0
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	316	320	0.3	0.3	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	88 315	76 751	70.3	60.9	7.0
18100	老 衰	69 684	60 719	55.4	48.2	5.5
18200	乳幼児突然死症候群	124	152	0.1	0.1	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	18 507	15 880	14.7	12.6	1.5
20000	傷病及び死亡の外因	71 533	73 469	56.9	58.3	5.6
20100	不慮の事故	39 435	41 031	31.4	32.6	3.1
20101	交通事故	5 971	6 414	4.8	5.1	0.5
20102	転倒・転落	7 280	7 761	5.8	6.2	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	7 502	7 963	6.0	6.3	0.6
20104	不慮の窒息	9 582	10 338	7.6	8.2	0.8
20105	煙, 火及び火炎への曝露	1 344	1 347	1.1	1.1	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	663	789	0.5	0.6	0.1
20107	その他の不慮の事故	7 093	6 419	5.6	5.1	0.6
20200	自 殺	26 038	26 433	20.7	21.0	2.1
20300	他 殺	341	383	0.3	0.3	0.0
20400	その他の外因	5 719	5 622	4.5	4.5	0.5
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>2)</sup>	悪性新生物	364 721	290.1	心 疾 患	196 547	156.4	肺 炎	122 880	97.8
0歳 <sup>3)</sup>	先天奇形等	807	78.4	呼吸障害等	308	29.9	乳幼児突然死 症候群	122	11.8
1～4	先天奇形等	141	3.4	不慮の事故	109	2.6	悪性新生物	83	2.0
5～9	不慮の事故	106	2.0	悪性新生物	104	2.0	その他の新生物	35	0.7
10～14	悪性新生物	97	1.7	自 殺	91	1.6	不慮の事故	66	1.1
15～19	自 殺	454	7.6	不慮の事故	335	5.6	悪性新生物	149	2.5
20～24	自 殺	1 250	20.8	不慮の事故	410	6.8	悪性新生物	176	2.9
25～29	自 殺	1 423	21.4	不慮の事故	366	5.5	悪性新生物	301	4.5
30～34	自 殺	1 598	21.5	悪性新生物	635	8.5	不慮の事故	418	5.6
35～39	自 殺	1 977	22.2	悪性新生物	1 496	16.8	心 疾 患	630	7.1
40～44	悪性新生物	2 871	30.2	自 殺	2 170	22.8	心 疾 患	1 188	12.5
45～49	悪性新生物	4 690	56.6	自 殺	2 206	26.6	心 疾 患	1 757	21.2
50～54	悪性新生物	8 206	107.5	心 疾 患	2 547	33.4	自 殺	2 211	29.0
55～59	悪性新生物	14 252	186.1	心 疾 患	3 819	49.9	脳血管疾患	2 463	32.2
60～64	悪性新生物	30 891	321.5	心 疾 患	7 654	79.7	脳血管疾患	4 382	45.6
65～69	悪性新生物	40 200	464.5	心 疾 患	10 010	115.7	脳血管疾患	5 984	69.1
70～74	悪性新生物	49 260	651.4	心 疾 患	14 126	186.8	脳血管疾患	8 746	115.7
75～79	悪性新生物	60 437	962.7	心 疾 患	21 956	349.7	脳血管疾患	14 419	229.7
80～84	悪性新生物	65 554	1 380.7	心 疾 患	34 841	733.8	肺 炎	24 101	507.6
85～89	悪性新生物	51 990	1 781.7	心 疾 患	42 482	1 455.9	肺 炎	31 788	1 089.4
90～94	心 疾 患	34 014	2 804.1	肺 炎	24 920	2 054.4	悪性新生物	24 719	2 037.8
95～99	老 衰	17 337	5 069.3	心 疾 患	16 761	4 900.9	肺 炎	12 232	3 576.6
100歳以上	老 衰	7 390	13 436.4	心 疾 患	3 894	7 080.0	肺 炎	2 901	5 274.5

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形、変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成25年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	118 286	94.1	老 衰	69 684	55.4	総 数 <sup>2)</sup>
不慮の事故	89	8.6	出血性障害等	76	7.4	0 歳 <sup>3)</sup>
心疾患	55	1.3	肺炎	53	1.3	1～4
心疾患	22	0.4	肺炎等 先天奇形等	20	0.4	5～9
心疾患	25	0.4	先天奇形等	20	0.3	10～14
心疾患	51	0.9	その他の新生物	21	0.4	15～19
心疾患	111	1.8	先天奇形等	31	0.5	20～24
心疾患	177	2.7	脳血管疾患	60	0.9	25～29
心疾患	317	4.3	脳血管疾患	128	1.7	30～34
不慮の事故	528	5.9	脳血管疾患	357	4.0	35～39
脳血管疾患	804	8.4	不慮の事故	685	7.2	40～44
脳血管疾患	1 215	14.7	不慮の事故	761	9.2	45～49
脳血管疾患	1 691	22.1	肝疾患	973	12.7	50～54
自殺	2 045	26.7	不慮の事故	1 245	16.3	55～59
自殺	2 306	24.0	不慮の事故	2 193	22.8	60～64
肺炎	3 356	38.8	不慮の事故	2 668	30.8	65～69
肺炎	6 543	86.5	不慮の事故	3 727	49.3	70～74
肺炎	13 229	210.7	不慮の事故	5 455	86.9	75～79
脳血管疾患	22 537	474.7	不慮の事故	6 932	146.0	80～84
脳血管疾患	26 062	893.1	老 衰	14 835	508.4	85～89
老 衰	21 858	1 802.0	脳血管疾患	19 095	1 574.2	90～94
脳血管疾患	8 400	2 456.1	悪性新生物	7 545	2 206.1	95～99
脳血管疾患	1 836	3 338.2	悪性新生物	1 028	1 869.1	100歳以上

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>2)</sup>	悪性新生物	216 883	354.5	心 疾 患	91 333	149.3	肺 炎	66 307	108.4
0歳 <sup>3)</sup>	先天奇形等	406	76.9	呼吸障害等	169	32.0	乳幼児突然死症候群	66	12.5
1~4	先天奇形等	78	3.7	不慮の事故	68	3.2	悪性新生物	45	2.1
5~9	不慮の事故	83	3.1	悪性新生物	53	1.9	肺 炎	15	0.6
10~14	悪性新生物	59	2.0	自 殺	57	1.9	不慮の事故	47	1.6
15~19	自 殺	321	10.5	不慮の事故	262	8.6	悪性新生物	89	2.9
20~24	自 殺	919	29.8	不慮の事故	317	10.3	悪性新生物	104	3.4
25~29	自 殺	1 036	30.4	不慮の事故	295	8.7	悪性新生物	150	4.4
30~34	自 殺	1 140	30.1	不慮の事故	326	8.6	悪性新生物	259	6.8
35~39	自 殺	1 449	32.0	悪性新生物	610	13.5	心 疾 患	519	11.5
40~44	自 殺	1 597	33.1	悪性新生物	1 233	25.5	心 疾 患	941	19.5
45~49	悪性新生物	2 169	51.9	自 殺	1 622	38.8	心 疾 患	1 396	33.4
50~54	悪性新生物	4 299	112.2	心 疾 患	2 022	52.8	自 殺	1 656	43.2
55~59	悪性新生物	8 494	223.1	心 疾 患	3 057	80.3	脳血管疾患	1 698	44.6
60~64	悪性新生物	19 939	423.2	心 疾 患	5 938	126.0	脳血管疾患	3 106	65.9
65~69	悪性新生物	27 089	650.9	心 疾 患	7 363	176.9	脳血管疾患	4 100	98.5
70~74	悪性新生物	33 297	945.7	心 疾 患	9 482	269.3	脳血管疾患	5 869	166.7
75~79	悪性新生物	39 441	1 427.5	心 疾 患	12 922	467.7	肺 炎	9 331	337.7
80~84	悪性新生物	40 058	2 127.3	心 疾 患	17 554	932.2	肺 炎	15 483	822.3
85~89	悪性新生物	27 278	2 820.9	肺 炎	17 291	1 788.1	心 疾 患	16 783	1 735.6
90~94	肺 炎	9 669	3 428.7	悪性新生物	9 608	3 407.1	心 疾 患	8 850	3 138.3
95~99	肺 炎	3 687	5 946.8	心 疾 患	3 328	5 367.7	老 衰	2 816	4 541.9
100歳以上	老 衰	865	12 357.1	肺 炎	606	8 657.1	心 疾 患	568	8 114.3

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。



年齢（5歳階級）別

平成25年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	56 678	92.6	不慮の事故	22 998	37.6	総数 <sup>2)</sup>
不慮の事故	47	8.9	出血性障害等	44	8.3	0歳 <sup>3)</sup>
肺炎	32	1.5	心疾患	27	1.3	1～4
心疾患	14	0.5	その他の新生物	12	0.4	5～9
心疾患	15	0.5	脳血管疾患	12	0.4	10～14
心疾患	33	1.1	その他の新生物	15	0.5	15～19
心疾患	90	2.9	先天奇形等	21	0.7	20～24
心疾患	132	3.9	脳血管疾患	35	1.0	25～29
心疾患	229	6.1	脳血管疾患	81	2.1	30～34
不慮の事故	394	8.7	脳血管疾患	240	5.3	35～39
脳血管疾患	566	11.7	不慮の事故	532	11.0	40～44
脳血管疾患	821	19.7	不慮の事故	565	13.5	45～49
脳血管疾患	1 185	30.9	肝疾患	796	20.8	50～54
自殺	1 519	39.9	肝疾患	1 002	26.3	55～59
自殺	1 636	34.7	不慮の事故	1 631	34.6	60～64
肺炎	2 568	61.7	不慮の事故	1 916	46.0	65～69
肺炎	4 858	138.0	不慮の事故	2 388	67.8	70～74
脳血管疾患	9 040	327.2	不慮の事故	3 289	119.0	75～79
脳血管疾患	12 150	645.2	不慮の事故	3 889	206.5	80～84
脳血管疾患	10 781	1 114.9	老 衰	4 651	481.0	85～89
脳血管疾患	5 150	1 826.2	老 衰	4 688	1 662.4	90～94
悪性新生物	2 361	3 808.1	脳血管疾患	1 563	2 521.0	95～99
脳血管疾患	225	3 214.3	悪性新生物	222	3 171.4	100歳以上

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>2)</sup>	悪性新生物	147 838	229.1	心 疾 患	105 214	163.1	脳 血 管 疾 患	61 608	95.5
0歳 <sup>3)</sup>	先天奇形等	401	79.9	呼 吸 障 害 等	139	27.7	乳 幼 児 突 然 死 症 候 群	56	11.2
1～4	先天奇形等	63	3.1	不 慮 の 事 故	41	2.0	悪 性 新 生 物	38	1.9
5～9	悪性新生物	51	2.0	そ の 他 の 新 生 物	23	0.9	不 慮 の 事 故	23	0.9
10～14	悪性新生物	38	1.4	自 殺	34	1.2	不 慮 の 事 故	19	0.7
15～19	自 殺	133	4.6	不 慮 の 事 故	73	2.5	悪 性 新 生 物	60	2.1
20～24	自 殺	331	11.3	不 慮 の 事 故	93	3.2	悪 性 新 生 物	72	2.5
25～29	自 殺	387	11.9	悪 性 新 生 物	151	4.6	不 慮 の 事 故	71	2.2
30～34	自 殺	458	12.5	悪 性 新 生 物	376	10.3	不 慮 の 事 故	92	2.5
35～39	悪性新生物	886	20.2	自 殺	528	12.1	不 慮 の 事 故	134	3.1
40～44	悪性新生物	1 638	34.9	自 殺	573	12.2	心 疾 患	247	5.3
45～49	悪性新生物	2 521	61.5	自 殺	584	14.2	脳 血 管 疾 患	394	9.6
50～54	悪性新生物	3 907	102.6	自 殺	555	14.6	心 疾 患	525	13.8
55～59	悪性新生物	5 758	149.5	脳 血 管 疾 患	765	19.9	心 疾 患	762	19.8
60～64	悪性新生物	10 952	223.7	心 疾 患	1 716	35.1	脳 血 管 疾 患	1 276	26.1
65～69	悪性新生物	13 111	291.9	心 疾 患	2 647	58.9	脳 血 管 疾 患	1 884	41.9
70～74	悪性新生物	15 963	395.0	心 疾 患	4 644	114.9	脳 血 管 疾 患	2 877	71.2
75～79	悪性新生物	20 996	597.3	心 疾 患	9 034	257.0	脳 血 管 疾 患	5 379	153.0
80～84	悪性新生物	25 496	889.9	心 疾 患	17 287	603.4	脳 血 管 疾 患	10 387	362.5
85～89	心 疾 患	25 699	1 317.9	悪 性 新 生 物	24 712	1 267.3	脳 血 管 疾 患	15 281	783.6
90～94	心 疾 患	25 164	2 705.8	老 衰	17 170	1 846.2	肺 炎	15 251	1 639.9
95～99	老 衰	14 521	5 186.1	心 疾 患	13 433	4 797.5	肺 炎	8 545	3 051.8
100歳以上	老 衰	6 525	13 593.8	心 疾 患	3 326	6 929.2	肺 炎	2 295	4 781.3

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成25年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	56 573	87.7	老 衰	52 877	82.0	総 数 <sup>2)</sup>
不慮の事故	42	8.4	出血性障害等	32	6.4	0歳 <sup>3)</sup>
心疾患	28	1.4	肺 炎	21	1.0	1～4
先天奇形等	13	0.5	心疾患	8	0.3	5～9
先天奇形等	11	0.4	心疾患	10	0.4	10～14
心疾患	18	0.6	肺 炎	7	0.2	15～19
心疾患	21	0.7	脳血管疾患	16	0.5	20～24
心疾患	45	1.4	脳血管疾患	25	0.8	25～29
心疾患	88	2.4	脳血管疾患	47	1.3	30～34
脳血管疾患	117	2.7	心疾患	111	2.5	35～39
脳血管疾患	238	5.1	不慮の事故	153	3.3	40～44
心疾患	361	8.8	不慮の事故	196	4.8	45～49
脳血管疾患	506	13.3	不慮の事故	239	6.3	50～54
自殺	526	13.7	不慮の事故	308	8.0	55～59
自殺	670	13.7	不慮の事故	562	11.5	60～64
肺 炎	788	17.5	不慮の事故	752	16.7	65～69
肺 炎	1 685	41.7	不慮の事故	1 339	33.1	70～74
肺 炎	3 898	110.9	不慮の事故	2 166	61.6	75～79
肺 炎	8 618	300.8	老 衰	3 475	121.3	80～84
肺 炎	14 497	743.4	老 衰	10 184	522.3	85～89
悪性新生物	15 111	1 624.8	脳血管疾患	13 945	1 499.5	90～94
脳血管疾患	6 837	2 441.8	悪性新生物	5 184	1 851.4	95～99
脳血管疾患	1 611	3 356.3	悪性新生物	806	1 679.2	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 <sup>1)</sup> (21大都市)	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 029 800	527 651	502 149	1 268 432	658 679	609 753	2 185	1 193	992	1 026
北 海 道	38 189	19 558	18 631	59 434	30 977	28 457	85	45	40	43
青 森 県	9 126	4 725	4 401	17 112	8 738	8 374	14	7	7	6
岩 手 県	9 231	4 766	4 465	15 969	8 185	7 784	12	11	1	4
宮 城 県	18 949	9 692	9 257	22 213	11 395	10 818	49	25	24	26
秋 田 県	6 177	3 118	3 059	14 823	7 413	7 410	10	7	3	2
山 形 県	8 159	4 148	4 011	15 029	7 489	7 540	30	17	13	14
福 島 県	14 546	7 526	7 020	23 613	12 206	11 407	24	13	11	9
茨 城 県	22 358	11 551	10 807	30 367	15 908	14 459	56	28	28	32
栃 木 県	15 588	7 959	7 629	20 591	10 613	9 978	29	13	16	16
群 馬 県	14 732	7 480	7 252	21 661	11 318	10 343	35	22	13	14
埼 玉 県	57 470	29 418	28 052	60 264	32 859	27 405	114	64	50	50
千 葉 県	48 344	24 795	23 549	53 601	29 061	24 540	110	63	47	50
東 京 都	109 984	56 267	53 717	110 495	58 803	51 692	215	112	103	96
神 奈 川 県	74 319	38 245	36 074	72 970	39 611	33 359	149	81	68	81
新 潟 県	17 066	8 821	8 245	28 383	14 160	14 223	37	23	14	17
富 山 県	7 722	3 973	3 749	12 547	6 390	6 157	21	12	9	9
石 川 県	9 449	4 869	4 580	12 224	6 105	6 119	15	5	10	8
福 井 県	6 461	3 295	3 166	8 764	4 451	4 313	12	9	3	6
山 梨 県	6 198	3 139	3 059	9 441	4 729	4 712	14	10	4	9
長 野 県	16 326	8 297	8 029	24 306	12 294	12 012	36	19	17	16
岐 阜 県	16 000	8 271	7 729	21 518	11 168	10 350	40	22	18	21
静 岡 県	30 260	15 620	14 640	38 389	20 217	18 172	64	34	30	32
愛 知 県	66 818	34 133	32 685	62 393	33 284	29 109	133	77	56	58
三 重 県	14 514	7 451	7 063	19 690	10 133	9 557	44	31	13	22
滋 賀 県	13 014	6 679	6 335	12 233	6 317	5 916	37	21	16	20
京 都 府	20 104	10 386	9 718	25 331	12 822	12 509	52	22	30	29
大 阪 府	72 053	36 949	35 104	81 858	43 926	37 932	136	76	60	58
兵 庫 県	45 672	23 309	22 363	54 364	28 014	26 350	72	43	29	30
奈 良 県	10 190	5 168	5 022	14 028	7 114	6 914	19	11	8	9
和 歌 山 県	7 122	3 603	3 519	12 773	6 316	6 457	15	7	8	5
鳥 取 県	4 759	2 443	2 316	7 270	3 647	3 623	6	4	2	4
島 根 県	5 534	2 804	2 730	9 572	4 713	4 859	13	7	6	6
岡 山 県	16 210	8 217	7 993	21 199	10 648	10 551	32	18	14	14
広 島 県	24 713	12 693	12 020	29 356	14 977	14 379	43	20	23	21
山 口 県	10 705	5 503	5 202	18 459	9 289	9 170	21	13	8	8
徳 島 県	5 665	2 916	2 749	10 013	5 069	4 944	24	12	12	14
香 川 県	8 059	4 182	3 877	11 513	5 838	5 675	19	12	7	8
愛 媛 県	10 696	5 548	5 148	17 480	8 727	8 753	25	11	14	14
高 知 県	5 266	2 707	2 559	10 243	4 978	5 265	14	7	7	7
福 岡 県	45 897	23 541	22 356	49 455	24 871	24 584	103	49	54	41
佐 賀 県	7 276	3 690	3 586	9 640	4 715	4 925	23	13	10	8
長 崎 県	11 566	5 868	5 698	17 226	8 529	8 697	27	9	18	14
熊 本 県	15 954	8 196	7 758	20 237	9 944	10 293	41	20	21	18
大 宮 市	9 605	4 929	4 676	13 873	6 877	6 996	18	8	10	10
宮 崎 県	9 854	5 013	4 841	12 906	6 521	6 385	27	15	12	8
鹿 児 島 県	14 637	7 470	7 167	21 162	10 298	10 864	37	23	14	14
沖 縄 県	17 209	8 690	8 519	10 957	5 769	5 188	30	20	10	23
外 国	54	30	24	146	97	49	2	1	1	1
不 詳	.	.	.	1 341	1 156	185	1	1	-	1
(再掲)										
東 京 都 区	77 105	39 394	37 711	75 319	40 123	35 196	158	81	77	73
札 幌 市	14 591	7 505	7 086	16 845	8 726	8 119	34	17	17	17
仙 台 市	9 706	5 042	4 664	8 082	4 167	3 915	29	15	14	17
さい たま 市	10 860	5 583	5 277	9 510	5 149	4 361	16	11	5	6
千 葉 市	7 572	3 971	3 601	7 694	4 314	3 380	17	10	7	9
横 浜 市	30 181	15 511	14 670	28 960	15 723	13 237	57	31	26	33
川 崎 市	14 286	7 361	6 925	9 983	5 703	4 280	33	16	17	16
相 模 原 市	5 656	2 931	2 725	5 215	2 872	2 343	14	7	7	6
新 潟 市	6 285	3 255	3 030	8 226	4 206	4 020	21	13	8	8
静 岡 市	5 467	2 883	2 584	7 415	3 883	3 532	8	3	5	3
浜 松 市	6 982	3 643	3 339	7 517	3 932	3 585	15	7	8	7
名 古 屋 市	19 492	10 085	9 407	20 178	10 761	9 417	42	29	13	19
京 都 市	11 237	5 859	5 378	13 891	6 954	6 937	19	8	11	11
大 阪 市	22 626	11 559	11 067	27 338	15 084	12 254	46	26	20	16
堺 市	7 038	3 603	3 435	7 799	4 112	3 687	13	7	6	9
神 戸 市	12 213	6 207	6 006	14 741	7 585	7 156	14	9	5	5
岡 山 市	6 700	3 442	3 258	6 426	3 218	3 208	11	5	6	6
広 島 市	11 153	5 780	5 373	9 655	4 909	4 746	20	10	10	9
北 九 州 市	8 072	4 120	3 952	10 613	5 331	5 282	17	8	9	4
福 岡 市	14 784	7 632	7 152	10 849	5 519	5 330	41	19	22	17
熊 本 市	7 131	3 647	3 484	6 434	3 142	3 292	21	11	10	8

注：1)都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

自 然 増 減 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 <sup>1)</sup> (21大都市)
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早期新生児 死亡			
△ 238 632	24 093	10 934	13 159	3 863	3 111	752	660 594	231 384	全 国
△ 21 245	1 133	396	737	137	103	34	26 331	11 285	北 海 道
△ 7 986	239	112	127	26	21	5	5 723	2 335	青 森 県
△ 6 738	256	111	145	36	33	3	5 398	2 003	岩 手 県
△ 3 264	435	166	269	70	50	20	11 985	4 162	宮 城 県
△ 8 646	149	71	78	19	17	2	3 865	1 485	秋 田 県
△ 6 870	177	96	81	33	24	9	4 741	1 675	山 形 県
△ 9 067	385	222	163	78	71	7	9 069	3 246	福 島 県
△ 8 009	537	237	300	95	70	25	14 324	5 047	茨 城 県
△ 5 003	345	151	194	58	46	12	10 152	3 625	栃 木 県
△ 6 929	346	173	173	81	69	12	9 031	3 511	群 馬 県
△ 2 794	1 399	698	701	216	179	37	36 274	13 139	埼 玉 県
△ 5 257	1 128	573	555	168	138	30	31 366	11 289	千 葉 県
△ 511	2 437	1 134	1 303	400	329	71	88 065	24 854	東 京 都
△ 1 349	1 619	799	820	281	222	59	49 768	16 587	神 奈 川 県
△ 11 317	405	168	237	66	52	14	9 965	3 275	新 潟 県
△ 4 825	191	113	78	37	32	5	4 739	1 562	富 山 県
△ 2 775	169	97	72	34	28	6	5 339	1 812	石 川 県
△ 2 303	149	76	73	28	23	5	3 744	1 181	福 井 県
△ 3 243	129	56	73	26	19	7	3 961	1 473	山 梨 県
△ 7 980	379	169	210	59	46	13	9 933	3 420	山 梨 県
△ 5 518	311	141	170	58	43	15	9 492	3 227	岐 阜 県
△ 8 129	646	332	314	117	88	29	18 463	6 732	静 岡 県
△ 4 425	1 417	680	737	260	223	37	42 303	13 077	愛 知 県
△ 5 176	304	143	161	59	41	18	8 844	3 281	三 重 県
△ 781	259	131	128	57	42	15	7 465	2 329	滋 賀 県
△ 5 227	440	197	243	95	67	28	12 745	4 581	京 都 府
△ 9 805	1 661	746	915	261	216	45	48 594	18 104	大 阪 府
△ 8 692	964	451	513	143	125	18	27 825	10 047	兵 庫 県
△ 3 838	255	114	141	44	38	6	6 143	2 267	奈 良 県
△ 5 651	173	66	107	24	21	3	4 618	1 961	和 歌 山 県
△ 2 511	104	51	53	13	10	3	2 719	979	鳥 取 県
△ 4 038	131	54	77	20	16	4	2 992	1 045	島 根 県
△ 4 989	375	132	243	56	46	10	9 651	3 427	岡 山 県
△ 4 643	540	225	315	81	65	16	14 496	5 080	広 島 県
△ 7 754	239	121	118	32	25	7	6 512	2 525	山 口 県
△ 4 348	124	56	68	25	15	10	3 426	1 277	徳 島 県
△ 3 454	159	71	88	18	14	4	4 828	1 771	香 川 県
△ 6 784	308	113	195	50	39	11	6 416	2 573	愛 媛 県
△ 4 977	124	63	61	27	22	5	3 257	1 442	高 知 県
△ 3 558	1 195	471	724	157	123	34	28 181	10 290	福 岡 県
△ 2 364	157	65	92	28	21	7	3 992	1 436	佐 賀 県
△ 5 660	338	141	197	43	35	8	6 559	2 358	長 崎 県
△ 4 283	416	161	255	46	37	9	8 933	3 332	熊 本 県
△ 4 268	275	107	168	43	36	7	5 724	2 179	大 分 県
△ 3 052	294	102	192	31	27	4	5 660	2 319	宮 崎 県
△ 6 525	423	159	264	47	37	10	8 179	3 125	鹿 児 島 県
△ 6 252	443	219	224	77	66	11	8 804	3 654	沖 縄 県
△ 92	7	1	6	1	-	1	.	.	外 国
.	4	3	1	2	1	1	.	.	不 詳
△ 1 786	1 718	798	920	279	228	51	67 073	17 866	(再 掲)
△ 2 254	448	145	303	48	35	13	10 914	4 413	東 京 都 区 部
△ 1 624	228	92	136	42	29	13	6 504	1 886	札 幌 市
△ 1 350	233	106	127	28	25	3	6 822	2 060	仙 台 市
△ 122	179	108	71	37	31	6	4 748	1 775	さい たま 市
△ 1 221	614	318	296	119	92	27	20 299	6 679	千 葉 市
△ 4 303	270	138	132	47	37	10	10 340	2 529	横 浜 市
△ 441	145	69	76	21	16	5	3 587	1 414	川 崎 市
△ 1 941	158	66	92	24	18	6	3 883	1 176	相 模 原 市
△ 1 948	135	74	61	18	15	3	3 517	1 240	新 潟 市
△ 535	142	71	71	28	22	6	4 140	1 397	静 岡 市
△ 686	443	194	249	69	58	11	13 886	4 430	浜 松 市
△ 2 654	233	94	139	38	27	11	7 765	2 582	名 古 屋 市
△ 4 712	551	230	321	75	65	10	17 949	6 298	京 都 市
△ 761	145	61	84	30	21	9	4 431	1 812	大 阪 市
△ 2 528	267	123	144	31	26	5	8 001	2 938	堺 市
△ 274	158	61	97	28	24	4	3 927	1 360	堺 市
△ 1 498	237	91	146	34	27	7	6 719	2 173	神 戸 市
△ 2 541	223	91	132	24	20	4	5 214	2 073	岡 山 市
△ 3 935	388	152	236	61	46	15	10 166	3 005	広 島 市
△ 697	178	73	105	14	12	2	4 159	1 454	北 九 州 市
									福 岡 市
									熊 本 市

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 (21大都市)	出生率 (人口千対)	死亡率	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増減率 (人口千対)
全 国	8.2	10.1	2.1	1.0	△ 1.9
北 海 道	7.1	11.0	2.2	1.1	△ 3.9
青 森 県	6.8	12.8	1.5	0.7	△ 6.0
岩 手 県	7.2	12.4	1.3	0.4	△ 5.2
宮 城 県	8.2	9.6	2.6	1.4	△ 1.4
秋 田 県	5.9	14.2	1.6	0.3	△ 8.3
山 形 県	7.2	13.2	3.7	1.7	△ 6.0
福 島 県	7.5	12.2	1.6	0.6	△ 4.7
茨 城 県	7.7	10.5	2.5	1.4	△ 2.8
栃 木 県	7.9	10.5	1.9	1.0	△ 2.6
群 馬 県	7.6	11.1	2.4	1.0	△ 3.6
埼 玉 県	8.1	8.4	2.0	0.9	△ 0.4
千 葉 県	7.9	8.8	2.3	1.0	△ 0.9
東 京 都	8.5	8.5	2.0	0.9	△ 0.0
神 奈 川 県	8.3	8.1	2.0	1.1	0.2
新 潟 県	7.4	12.2	2.2	1.0	△ 4.9
富 山 県	7.3	11.8	2.7	1.2	△ 4.5
石 川 県	8.2	10.6	1.6	0.8	△ 2.4
福 井 県	8.2	11.2	1.9	0.9	△ 2.9
山 梨 県	7.4	11.3	2.3	1.5	△ 3.9
長 野 県	7.8	11.6	2.2	1.0	△ 3.8
岐 阜 県	7.9	10.7	2.5	1.3	△ 2.7
静 岡 県	8.2	10.5	2.1	1.1	△ 2.2
愛 知 県	9.2	8.6	2.0	0.9	0.6
三 重 県	8.1	10.9	3.0	1.5	△ 2.9
滋 賀 県	9.3	8.8	2.8	1.5	0.6
京 都 府	7.8	9.8	2.6	1.4	△ 2.0
大 阪 府	8.3	9.4	1.9	0.8	△ 1.1
兵 庫 県	8.3	9.9	1.6	0.7	△ 1.6
奈 良 県	7.4	10.2	1.9	0.9	△ 2.8
和 歌 山 県	7.3	13.1	2.1	0.7	△ 5.8
鳥 取 県	8.3	12.7	1.3	0.8	△ 4.4
島 根 県	7.9	13.7	2.3	1.1	△ 5.8
岡 山 県	8.5	11.1	2.0	0.9	△ 2.6
広 島 県	8.8	10.5	1.7	0.8	△ 1.7
山 口 県	7.6	13.1	2.0	0.7	△ 5.5
徳 島 県	7.4	13.1	4.2	2.5	△ 5.7
香 川 県	8.2	11.8	2.4	1.0	△ 3.5
愛 媛 県	7.7	12.5	2.3	1.3	△ 4.9
高 知 県	7.1	13.8	2.7	1.3	△ 6.7
福 岡 県	9.1	9.8	2.2	0.9	△ 0.7
佐 賀 県	8.7	11.5	3.2	1.1	△ 2.8
長 崎 県	8.3	12.4	2.3	1.2	△ 4.1
熊 本 県	8.9	11.3	2.6	1.1	△ 2.4
大 宮 市	8.2	11.9	1.9	1.0	△ 3.6
宮 崎 市	8.8	11.6	2.7	0.8	△ 2.7
鹿 児 島 県	8.7	12.6	2.5	1.0	△ 3.9
沖 縄 県	12.2	7.8	1.7	1.3	4.4
(再 掲)					
東 京 都 区 部	8.5	8.3	2.0	0.9	0.2
札 幌 市	7.5	8.7	2.3	1.2	△ 1.2
仙 台 市	9.1	7.6	3.0	1.8	1.5
さいたま市	8.7	7.7	1.5	0.6	1.1
千 葉 市	7.9	8.0	2.2	1.2	△ 0.1
横 浜 市	8.2	7.8	1.9	1.1	0.3
川 崎 市	9.9	6.9	2.3	1.1	3.0
相 模 原 市	7.8	7.2	2.5	1.1	0.6
新 潟 市	7.8	10.2	3.3	1.3	△ 2.4
静 岡 市	7.7	10.4	1.5	0.5	△ 2.7
浜 松 市	8.8	9.5	2.1	1.0	△ 0.7
名 古 屋 市	8.6	8.9	2.2	1.0	△ 0.3
京 都 市	7.6	9.4	1.7	1.0	△ 1.8
大 阪 市	8.4	10.2	2.0	0.7	△ 1.8
堺 市	8.4	9.3	1.8	1.3	△ 0.9
神 戸 市	7.9	9.6	1.1	0.4	△ 1.6
岡 山 市	9.4	9.0	1.6	0.9	0.4
広 島 市	9.4	8.2	1.8	0.8	1.3
北 九 州 市	8.3	11.0	2.1	0.5	△ 2.6
福 岡 市	9.8	7.2	2.8	1.1	2.6
熊 本 市	9.6	8.7	2.9	1.1	0.9

注：1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡率を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率 ( 出 産 千 対 )	人工死産率	周産期死亡率 <sup>2)</sup>	婚 姻 率 ( 人 口 千 対 )	離 婚 率 ( 人 口 千 対 )	都 道 府 県 (21大都市)
22.9	10.4	12.5	3.7	5.3	1.84	全 国
28.8	10.1	18.7	3.6	4.9	2.09	北 海 道
25.5	12.0	13.6	2.8	4.3	1.75	青 森 県
27.0	11.7	15.3	3.9	4.2	1.55	岩 手 県
22.4	8.6	13.9	3.7	5.2	1.80	宮 城 県
23.6	11.2	12.3	3.1	3.7	1.42	秋 田 県
21.2	11.5	9.7	4.0	4.2	1.47	山 形 県
25.8	14.9	10.9	5.3	4.7	1.67	福 島 県
23.5	10.4	13.1	4.2	4.9	1.74	茨 城 県
21.7	9.5	12.2	3.7	5.2	1.85	栃 木 県
22.9	11.5	11.5	5.5	4.6	1.80	群 馬 県
23.8	11.9	11.9	3.7	5.1	1.84	埼 玉 県
22.8	11.6	11.2	3.5	5.1	1.85	千 葉 県
21.7	10.1	11.6	3.6	6.8	1.91	東 京 都
21.3	10.5	10.8	3.8	5.6	1.85	神 奈 川 県
23.2	9.6	13.6	3.9	4.3	1.41	新 潟 県
24.1	14.3	9.9	4.8	4.4	1.47	富 山 県
17.6	10.1	7.5	3.6	4.6	1.58	石 川 県
22.5	11.5	11.0	4.3	4.8	1.51	福 山 県
20.4	8.9	11.5	4.2	4.7	1.76	山 梨 県
22.7	10.1	12.6	3.6	4.7	1.63	山 長 野 県
19.1	8.6	10.4	3.6	4.7	1.60	岐 阜 県
20.9	10.7	10.2	3.9	5.0	1.84	静 岡 県
20.8	10.0	10.8	3.9	5.8	1.79	愛 知 県
20.5	9.7	10.9	4.1	4.9	1.82	三 重 県
19.5	9.9	9.6	4.4	5.3	1.67	滋 賀 県
21.4	9.6	11.8	4.7	4.9	1.78	京 都 府
22.5	10.1	12.4	3.6	5.6	2.08	大 阪 府
20.7	9.7	11.0	3.1	5.1	1.83	兵 庫 県
24.4	10.9	13.5	4.3	4.5	1.65	和 歌 山 県
23.7	9.0	14.7	3.4	4.7	2.01	鳥 取 県
21.4	10.5	10.9	2.7	4.7	1.71	島 根 県
23.1	9.5	13.6	3.6	4.3	1.50	山 梨 県
22.6	8.0	14.7	3.4	5.0	1.79	岡 山 県
21.4	8.9	12.5	3.3	5.2	1.81	広 島 県
21.8	11.1	10.8	3.0	4.6	1.79	山 口 県
21.4	9.7	11.7	4.4	4.5	1.67	徳 島 県
19.3	8.6	10.7	2.2	4.9	1.81	香 川 県
28.0	10.3	17.7	4.7	4.6	1.84	愛 媛 県
23.0	11.7	11.3	5.1	4.4	1.94	高 知 県
25.4	10.0	15.4	3.4	5.6	2.04	福 岡 県
21.1	8.7	12.4	3.8	4.8	1.72	佐 賀 県
28.4	11.8	16.5	3.7	4.7	1.70	長 崎 県
25.4	9.8	15.6	2.9	5.0	1.86	熊 本 県
27.8	10.8	17.0	4.5	4.9	1.86	大 分 県
29.0	10.1	18.9	3.1	5.1	2.08	宮 崎 県
28.1	10.6	17.5	3.2	4.9	1.87	鹿 児 島 県
25.1	12.4	12.7	4.5	6.3	2.60	沖 縄 県
21.8	10.1	11.7	3.6	7.4	1.97	(再 掲) 東 京 都 区 部
29.8	9.6	20.1	3.3	5.6	2.28	札 幌 市
23.0	9.3	13.7	4.3	6.1	1.76	仙 台 市
21.0	9.6	11.4	2.6	5.5	1.66	さい たま 市
23.1	13.9	9.2	4.9	4.9	1.84	千 葉 市
19.9	10.3	9.6	3.9	5.5	1.80	横 浜 市
18.5	9.5	9.1	3.3	7.1	1.75	川 崎 市
25.0	11.9	13.1	3.7	5.0	1.96	相 模 原 市
24.5	10.2	14.3	3.8	4.8	1.45	新 潟 市
24.1	13.2	10.9	3.3	5.0	1.75	静 岡 市
19.9	10.0	10.0	4.0	5.2	1.76	浜 松 市
22.2	9.7	12.5	3.5	6.1	1.95	名 古 屋 市
20.3	8.2	12.1	3.4	5.3	1.76	京 都 市
23.8	9.9	13.8	3.3	6.7	2.35	大 阪 市
20.2	8.5	11.7	4.2	5.3	2.15	大 塚 市
21.4	9.9	11.5	2.5	5.2	1.91	神 戸 市
23.0	8.9	14.1	4.2	5.5	1.91	岡 山 市
20.8	8.0	12.8	3.0	5.7	1.84	広 島 市
26.9	11.0	15.9	3.0	5.4	2.14	北 九 州 市
25.6	10.0	15.6	4.1	6.8	2.00	福 岡 市
24.4	10.0	14.4	2.0	5.6	1.96	熊 本 市

第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(21大都市再掲)別

都道府県 (21大都市)	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		10200 肺炎		09300 脳血管疾患		18100 老衰	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 国 <sup>1)</sup>	1 268 432	1 009.1	364 721	290.1	196 547	156.4	122 880	97.8	118 286	94.1	69 684	55.4
北海道	59 434	1 098.2	18 446	340.8	9 486	175.3	5 759	106.4	4 973	91.9	2 319	42.8
青森	17 112	1 283.7	4 928	369.7	2 649	198.7	1 908	143.1	1 805	135.4	885	66.4
岩手	15 969	1 237.9	4 295	332.9	2 730	211.6	1 374	106.5	2 074	160.8	925	71.7
宮城	22 213	958.7	6 497	280.4	3 329	143.7	1 776	76.7	2 464	106.3	1 466	63.3
秋田	14 823	1 415.8	4 113	392.8	2 171	207.4	1 464	139.8	1 703	162.7	895	85.5
山形	15 029	1 323.0	4 015	353.4	2 325	204.7	1 556	137.0	1 728	152.1	1 024	90.1
福島	23 613	1 217.8	6 115	315.4	4 191	216.1	2 156	111.2	2 636	135.9	1 427	73.6
茨城	30 367	1 049.3	8 422	291.0	4 752	164.2	3 108	107.4	3 256	112.5	1 770	61.2
栃木	20 591	1 050.0	5 624	286.8	3 336	170.1	1 992	101.6	2 242	114.3	1 333	68.0
群馬	21 661	1 110.8	5 926	303.9	3 337	171.1	2 457	126.0	2 146	110.1	1 162	59.6
埼玉	60 264	844.7	18 090	253.6	10 173	142.6	6 307	88.4	5 469	76.7	2 546	35.7
千葉	53 601	876.7	16 028	262.2	9 654	157.9	5 156	84.3	4 784	78.2	2 832	46.3
東京	110 495	851.3	33 328	256.8	16 585	127.8	10 096	77.8	9 679	74.6	5 847	45.0
神奈川	72 970	814.8	22 500	251.2	10 623	118.6	6 389	71.3	6 571	73.4	4 590	51.3
新潟	28 383	1 223.9	7 871	339.4	4 067	175.4	2 540	109.5	3 338	143.9	2 013	86.8
富山	12 547	1 178.1	3 514	330.0	1 658	155.7	1 349	126.7	1 279	120.1	742	69.7
石川	12 224	1 063.0	3 416	297.0	1 934	168.2	1 251	108.8	1 295	112.6	742	64.5
福井	8 764	1 117.9	2 323	296.3	1 431	182.5	965	123.1	816	104.1	448	57.1
山梨	9 441	1 129.3	2 494	298.3	1 276	152.6	808	96.7	993	118.8	762	91.1
長野	24 306	1 160.2	6 149	293.5	3 780	180.4	2 032	97.0	3 057	145.9	1 739	83.0
岐阜	21 518	1 066.3	6 031	298.9	3 503	173.6	1 851	91.7	1 934	95.8	1 591	78.8
静岡	38 389	1 046.6	10 505	286.4	5 543	151.1	3 098	84.5	4 077	111.2	3 105	84.7
愛知	62 393	856.0	18 483	253.6	8 368	114.8	5 447	74.7	5 336	73.2	3 610	49.5
三重	19 690	1 092.7	5 226	290.0	2 935	162.9	1 821	101.1	1 856	103.0	1 555	86.3
滋賀	12 233	875.7	3 554	254.4	2 032	145.5	1 137	81.4	1 061	75.9	640	45.8
京都	25 331	983.3	7 645	296.8	4 126	160.2	2 414	93.7	2 188	84.9	1 302	50.5
大阪	81 858	942.0	25 524	293.7	13 041	150.1	8 727	100.4	6 034	69.4	2 791	32.1
兵庫	54 364	991.5	16 284	297.0	8 341	152.1	5 063	92.3	4 716	86.0	2 771	50.5
奈良	14 028	1 021.0	4 162	302.9	2 551	185.7	1 395	101.5	1 191	86.7	689	50.1
和歌山	12 773	1 310.1	3 450	353.8	2 303	236.2	1 355	139.0	1 037	106.4	818	83.9
鳥取	7 270	1 266.6	2 024	352.6	1 096	190.9	627	109.2	734	127.9	594	103.5
島根	9 572	1 373.3	2 562	367.6	1 370	196.6	929	133.3	939	134.7	731	104.9
岡山	21 199	1 108.2	5 556	290.4	3 256	170.2	2 377	124.3	2 028	106.0	1 274	66.6
広島	29 356	1 045.1	8 208	292.2	4 880	173.7	2 850	101.5	2 608	92.8	1 690	60.2
山口	18 459	1 311.0	5 007	355.6	3 042	216.1	2 238	158.9	1 721	122.2	1 073	76.2
徳島	10 013	1 307.2	2 481	323.9	1 502	196.1	1 100	143.6	843	110.1	582	76.0
香川	11 513	1 176.0	3 054	312.0	1 944	198.6	772	78.9	986	100.7	726	74.2
愛媛	17 480	1 250.4	4 437	317.4	3 336	238.6	1 682	120.3	1 584	113.3	1 154	82.5
高知	10 243	1 380.5	2 537	341.9	1 820	245.3	1 193	160.8	1 050	141.5	428	57.7
福岡	49 455	979.9	15 175	300.7	5 722	113.4	5 204	103.1	4 066	80.6	1 830	36.3
佐賀	9 640	1 153.1	2 758	329.9	1 351	161.6	1 150	137.6	880	105.3	432	51.7
長崎	17 226	1 238.4	4 924	354.0	2 681	192.7	1 781	128.0	1 478	106.3	841	60.5
熊本	20 237	1 128.7	5 267	293.8	3 277	182.8	2 020	112.7	1 789	99.8	1 168	65.1
大分	13 873	1 185.7	3 590	306.8	2 036	174.0	1 466	125.3	1 360	116.2	715	61.1
宮崎	12 906	1 156.5	3 525	315.9	2 205	197.6	1 303	116.8	1 289	115.5	556	49.8
鹿児島	21 162	1 264.2	5 469	326.7	3 109	185.7	2 342	139.9	2 219	132.6	1 059	63.3
沖縄	10 957	778.7	2 997	213.0	1 521	108.1	997	70.9	855	60.8	483	34.3
外国	146	・	29	・	18	・	7	・	7	・	3	・
(再掲)												
東京都区部	75 319	831.3	22 886	252.6	11 260	124.3	6 611	73.0	6 461	71.3	3 786	41.8
札幌市	16 845	870.1	5 673	293.0	2 282	117.9	1 477	76.3	1 381	71.3	514	26.5
仙台市	8 082	756.0	2 521	235.8	1 063	99.4	555	51.9	841	78.7	538	50.3
さいたま市	9 510	765.1	2 912	234.3	1 478	118.9	933	75.1	836	67.3	437	35.2
千葉市	7 694	798.1	2 451	254.3	1 243	128.9	732	75.9	708	73.4	327	33.9
横浜市	28 960	782.1	9 028	243.8	4 138	111.7	2 558	69.1	2 524	68.2	1 911	51.6
川崎市	9 983	689.4	3 099	214.0	1 385	95.6	858	59.3	989	68.3	461	31.8
相模原市	5 215	723.3	1 644	228.0	894	124.0	431	59.8	473	65.6	272	37.7
新潟市	8 226	1 015.6	2 486	306.9	1 191	147.0	808	99.8	889	109.8	428	52.8
静岡市	7 415	1 044.4	2 094	294.9	1 172	165.1	556	78.3	699	98.5	625	88.0
浜松市	7 517	947.9	1 896	239.1	1 046	131.9	546	68.9	862	108.7	755	95.2
名古屋市	20 178	888.5	6 092	268.3	2 815	124.0	1 792	78.9	1 662	73.2	946	41.7
京都市	13 891	944.3	4 229	287.5	2 269	154.2	1 316	89.5	1 164	79.1	687	46.7
大阪市	27 338	1 018.9	8 319	310.1	3 769	140.5	3 007	112.1	2 117	78.9	845	31.5
堺市	7 799	927.3	2 517	299.3	1 240	147.4	801	95.2	596	70.9	267	31.7
神戸市	14 741	957.2	4 508	292.7	2 196	142.6	1 288	83.6	1 227	79.7	731	47.5
岡山市	6 426	901.3	1 820	255.3	958	134.4	620	87.0	629	88.2	352	49.4
広島市	9 655	816.1	2 851	241.0	1 580	133.6	861	72.8	794	67.1	552	46.7
北九州市	10 613	1 096.4	3 290	339.9	1 287	133.0	1 121	115.8	912	94.2	346	35.7
福岡市	10 849	720.4	3 579	237.6	1 128	74.9	1 018	67.6	780	51.8	342	22.7
熊本市	6 434	869.5	1 810	244.6	1 005	135.8	580	78.4	517	69.9	344	46.5

注：1)全国値には、住所地不詳を含む。



20100 不慮の事故		20200 自殺		14200 腎不全		10400 慢性閉塞性肺疾患(COPD)		09400 大動脈瘤及び解離		(参考) 04100 糖尿病		都道府県 (21大都市)
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
39 435	31.4	26 038	20.7	25 074	19.9	16 408	13.1	16 073	12.8	13 783	11.0	全 国 <sup>1)</sup>
1 532	28.3	1 144	21.1	1 606	29.7	711	13.1	785	14.5	673	12.4	北 海 道
500	37.5	311	23.3	475	35.6	183	13.7	181	13.6	213	16.0	青 森
516	40.0	340	26.4	335	26.0	198	15.3	158	12.2	170	13.2	岩 手
626	27.0	458	19.8	439	18.9	244	10.5	327	14.1	235	10.1	宮 城
539	51.5	277	26.5	298	28.5	142	13.6	174	16.6	156	14.9	秋 田
494	43.5	279	24.6	271	23.9	211	18.6	215	18.9	128	11.3	山 形
774	39.9	420	21.7	445	22.9	348	17.9	313	16.1	313	16.1	福 島
1 010	34.9	613	21.2	564	19.5	391	13.5	404	14.0	373	12.9	茨 城
545	27.8	443	22.6	383	19.5	256	13.1	279	14.2	265	13.5	栃 木
691	35.4	493	25.3	375	19.2	344	17.6	266	13.6	237	12.2	群 馬
1 478	20.7	1 485	20.8	1 107	15.5	665	9.3	667	9.3	706	9.9	埼 玉
1 511	24.7	1 212	19.8	863	14.1	570	9.3	658	10.8	609	10.0	千 葉
2 732	21.0	2 610	20.1	1 907	14.7	1 346	10.4	1 682	13.0	1 245	9.6	東 京
2 554	28.5	1 606	17.9	1 186	13.2	945	10.6	961	10.7	633	7.1	神 奈 川
1 013	43.7	605	26.1	490	21.1	318	13.7	306	13.2	306	13.2	新 潟
507	47.6	241	22.6	206	19.3	135	12.7	179	16.8	143	13.4	富 山
403	35.0	203	17.7	191	16.6	149	13.0	150	13.0	120	10.4	石 川
392	50.0	140	17.9	191	24.4	111	14.2	104	13.3	96	12.2	福 井
374	44.7	196	23.4	170	20.3	133	15.9	122	14.6	126	15.1	山 梨
852	40.7	421	20.1	422	20.1	315	15.0	333	15.9	278	13.3	長 野
756	37.5	385	19.1	414	20.5	278	13.8	293	14.5	176	8.7	岐 阜
1 262	34.4	759	20.7	779	21.2	494	13.5	527	14.4	478	13.0	静 岡
1 960	26.9	1 388	19.0	1 197	16.4	682	9.4	867	11.9	601	8.2	愛 知
682	37.8	348	19.3	429	23.8	266	14.8	281	15.6	227	12.6	三 重
441	31.6	293	21.0	213	15.2	170	12.2	165	11.8	102	7.3	滋 賀
579	22.5	498	19.3	542	21.0	374	14.5	295	11.5	243	9.4	京 都
2 289	26.3	1 811	20.8	1 821	21.0	1 123	12.9	770	8.9	958	11.0	大 阪
1 803	32.9	1 123	20.5	1 112	20.3	791	14.4	611	11.1	602	11.0	兵 庫
322	23.4	251	18.3	253	18.4	195	14.2	164	11.9	134	9.8	和 歌 山
380	39.0	208	21.3	286	29.3	210	21.5	145	14.9	114	11.7	鳥 取
218	38.0	121	21.1	150	26.1	87	15.2	98	17.1	84	14.6	島 根
312	44.8	177	25.4	181	26.0	125	17.9	126	18.1	84	12.1	岡 山
758	39.6	339	17.7	429	22.4	307	16.0	232	12.1	226	11.8	広 島
1 033	36.8	556	19.8	640	22.8	410	14.6	331	11.8	291	10.4	山 口
486	34.5	281	20.0	379	26.9	231	16.4	235	16.7	162	11.5	徳 島
342	44.6	168	21.9	236	30.8	183	23.9	113	14.8	135	17.6	香 川
413	42.2	184	18.8	253	25.8	125	12.8	113	11.5	170	17.4	愛 媛
649	46.4	316	22.6	401	28.7	210	15.0	178	12.7	167	11.9	高 知
415	55.9	160	21.6	247	33.3	104	14.0	135	18.2	111	15.0	福 岡
1 670	33.1	1 066	21.1	967	19.2	691	13.7	688	13.6	562	11.1	(再 掲)
321	38.4	151	18.1	188	22.5	148	17.7	106	12.7	103	12.3	東 京 都 区 部
590	42.4	280	20.1	329	23.7	226	16.2	229	16.5	150	10.8	札 幌 市
614	34.2	365	20.4	440	24.5	291	16.2	321	17.9	181	10.1	仙 台 市
517	44.2	253	21.6	262	22.4	216	18.5	149	12.7	128	10.9	さい たま 市
435	39.0	256	22.9	296	26.5	183	16.4	154	13.8	128	11.5	千 葉 市
763	45.6	362	21.6	487	29.1	344	20.5	319	19.1	244	14.6	横 浜 市
289	20.5	292	20.8	209	14.9	215	15.3	153	10.9	185	13.1	川 崎 市
8	.	6	.	2	.	2	.	1	.	1	.	相 模 原 市
1 977	21.8	1 786	19.7	1 341	14.8	996	11.0	1 068	11.8	881	9.7	新 潟 市
370	19.1	374	19.3	406	21.0	190	9.8	230	11.9	184	9.5	静 岡 市
189	17.7	199	18.6	153	14.3	78	7.3	133	12.4	110	10.3	浜 松 市
233	18.7	256	20.6	153	12.3	104	8.4	102	8.2	96	7.7	名 古 屋 市
186	19.3	182	18.9	111	11.5	62	6.4	89	9.2	98	10.2	京 都 市
1 053	28.4	622	16.8	456	12.3	360	9.7	379	10.2	236	6.4	大 阪 市
404	27.9	242	16.7	158	10.9	131	9.0	119	8.2	117	8.1	堺 市
122	16.9	140	19.4	97	13.5	73	10.1	69	9.6	41	5.7	神 戸 市
254	31.4	176	21.7	154	19.0	78	9.6	92	11.4	79	9.8	岡 山 市
248	34.9	138	19.4	123	17.3	90	12.7	98	13.8	80	11.3	広 島 市
227	28.6	134	16.9	184	23.2	82	10.3	86	10.8	85	10.7	北 九 州 市
567	25.0	445	19.6	408	18.0	208	9.2	292	12.9	199	8.8	福 岡 市
320	21.8	252	17.1	274	18.6	163	11.1	183	12.4	127	8.6	熊 本 市
885	33.0	667	24.9	651	24.3	398	14.8	241	9.0	278	10.4	
223	26.5	164	19.5	169	20.1	108	12.8	75	8.9	68	8.1	
488	31.7	301	19.5	268	17.4	197	12.8	178	11.6	168	10.9	
213	29.9	116	16.3	134	18.8	76	10.7	75	10.5	76	10.7	
323	27.3	192	16.2	206	17.4	127	10.7	120	10.1	88	7.4	
351	36.3	181	18.7	186	19.2	141	14.6	183	18.9	133	13.7	
356	23.6	296	19.7	164	10.9	158	10.5	143	9.5	128	8.5	
143	19.3	118	15.9	142	19.2	79	10.7	133	18.0	58	7.8	

## 合計特殊出生率について

### 1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

○ 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

#### A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

#### B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

○ 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

○ ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計であるBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

### 2. 平成25年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した<sup>\*)</sup>。

例えば1974～1978年生まれ（平成25年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.40であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.40に今後の40歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により40歳以上の出生率（平成25年0.0499）が上昇傾向であることから、少なくとも平成25年の期間合計特殊出生率（1.43）を上回ると見込まれる。

\*) 各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和58年 (1983)	63年 (1988)	平成5年 (1993)	10年 (1998)	15年 (2003)	20年 (2008)	平成25年 (2013)
母の年齢	1.80	1.66	1.46	1.38	1.29	1.37	1.43
15～19歳	0.0223	0.0187	0.0183	0.0225	0.0280	0.0256	<b>0.0221</b>
20～24	0.3546	<b>0.2618</b>	0.2119	0.1942	0.1892	0.1847	<b>0.1555</b>
25～29	0.9267	0.7972	<b>0.6283</b>	0.5278	0.4490	0.4378	<b>0.4298</b>
30～34	0.4120	0.4693	0.4667	<b>0.4732</b>	0.4333	0.4718	<b>0.5017</b>
35～39	0.0760	0.0987	0.1198	0.1485	<b>0.1678</b>	0.2132	<b>0.2677</b>
40～44	0.0087	0.0103	0.0130	0.0173	0.0227	<b>0.0329</b>	<b>0.0486</b>
45～49	0.0003	0.0003	0.0003	0.0005	0.0006	0.0008	<b>0.0013</b>

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1964-1968	1969-1973	1974-1978	1979-1983	1984-1988	1989-1993	1994-1998
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.0223	0.0187	0.0183	0.0225	0.0280	0.0256	0.0221
20～24	0.2618	0.2119	0.1942	0.1892	0.1847	0.1555	
25～29	0.6283	0.5278	0.4490	0.4378	0.4298		
30～34	0.4732	0.4333	0.4718	0.5017			
35～39	0.1678	0.2132	0.2677				
40～44	0.0329	0.0486					
45～49	<b>0.0013</b>						
コホート 合計特殊出生率	<b>1.59</b>	<b>1.45</b>	<b>1.40</b>	<b>1.15</b>	<b>0.64</b>	<b>0.18</b>	<b>0.02</b>

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1964-1968	1969-1973	1974-1978	1979-1983	1984-1988	1989-1993	1994-1998
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	<b>0.02</b>
15～24	0.28	0.23	0.21	0.21	0.21	<b>0.18</b>	
15～29	0.91	0.76	0.66	0.65	<b>0.64</b>		
15～34	1.39	1.19	1.13	<b>1.15</b>			
15～39	1.55	1.40	<b>1.40</b>				
15～44	1.59	<b>1.45</b>					
15～49	<b>1.59</b>						

\*「15～19歳の世代」は平成6～10年生まれ、「20～24歳の世代」は平成元年～平成5年生まれ、  
「25～29歳の世代」は昭和59～63年生まれ、「30～34歳の世代」は昭和54～58年生まれ、  
「35～39歳の世代」は昭和49～53年生まれ、「40～44歳の世代」は昭和44～48年生まれ、  
「45～49歳の世代」は昭和39～43年生まれ。

### 3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「(期間)合計特殊出生率」、「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$\text{出生数} = \frac{\text{女性人口 (15～49歳)}}{\text{(15～49歳)}} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い}^{2)}$
---

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成24年	$103.7\text{万人} = 2,613\text{万人} \times \frac{1.41}{35} \times 0.988$
	$\downarrow \Delta 0.7\% \quad \downarrow \Delta 0.8\% \quad \downarrow 1.5\% \quad \downarrow \Delta 1.4\%$
平成25年	$103.0\text{万人} = 2,591\text{万人} \times \frac{1.43}{35} \times 0.975$

※平成24年の合計特殊出生率を用いると、平成25年の出生数は前年より△2.2%であったと見込まれる。

平成24年から平成25年の動向をみると、「女性人口」が減少し、「年齢構成の違い」も低下したため、「合計特殊出生率」が上昇したものの、出生数が減少したことが分かる。

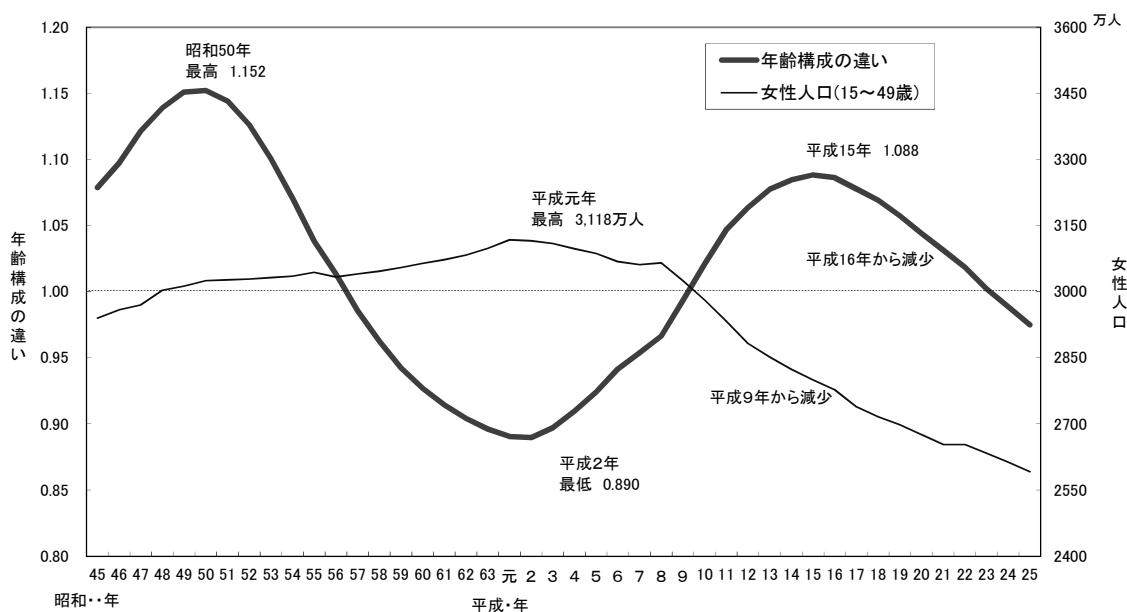
同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁の通りであるが、

- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を境に増減を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

- 注：1) (期間)合計特殊出生率は15～49までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。
- 2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」/35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。出生率の高い年齢層に女性の人数が相対的に多くなっている場合には、「年齢構成の違い」は概ね1より大きくなる。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



(期間) 合計特殊出生率を用いた出生数の構造分析

年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出生数 ①×②/35×③	女性人口 (15～49歳) (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	女性人口 (15～49歳) (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③
昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079	...	...	...	...
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
22	1 071 304	26 535	1.39	1.019	0.1	0.0	1.4	△ 1.3
23	1 050 806	26 337	1.39	1.002	△ 1.9	△ 0.7	0.4	△ 1.6
24	1 037 231	26 135	1.41	0.988	△ 1.3	△ 0.8	0.9	△ 1.4
25	1 029 800	25 914	1.43	0.975	△ 0.7	△ 0.8	1.5	△ 1.4

注：1) 「女性人口(15～49歳)」の転換年は平成9年  
 2) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年、平成18年  
 3) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年

## 人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率		死亡率		乳児死亡率		婚姻率		離婚率		合計特殊出生率	
	(人口千対)		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)		(人口千対)			
日本	2013)	*8.2	'13)	*10.1	'13)	*2.1	'13)	*5.3	'13)	*1.84	'13)	*1.43
韓国	'13)	*8.6	'13)	*5.3		…	'12)	6.5	'12)	2.3	'13)	*1.19
シンガポール	'12)	11.2	'12)	4.8	'12)	2.3	'12)	7.3	'12)	1.81	'12)	1.29
アメリカ	'12)	12.6	'11)	*8.1	'11)	*6.1	'11)	6.8	'11)	3.6	'12)	1.88
フランス	'12)	*12.5	'12)	*8.8	'12)	*3.3	'12)	*3.7	'11)	2.05	'12)	2.01
ドイツ	'12)	*8.2	'12)	*10.5	'12)	*3.4	'12)	*4.7	'11)	2.29	'12)	1.38
イタリア	'11)	*9.0	'11)	*9.8	'11)	3.2	'12)	*3.4	'10)	0.90	'12)	1.43
スウェーデン	'12)	11.9	'12)	9.7	'12)	2.6	'12)	5.3	'12)	2.46	'12)	1.91
イギリス	'11)	12.9	'11)	8.8	'11)	4.2	'10)	*4.5	'11)	2.07	'12)	1.92

注：\*印は暫定値である。

資料：(1) UN, Demographic Yearbook

(2) U.S. Department of Health and Human Services, National Vital Statistics Reports

(3) Eurostat, Population and Social Conditions

(4) 韓国統計庁資料

## 分母に用いた人口

### ① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
	人	人	人
総数	125 704 000	61 186 000	64 518 000
0～4歳	5 188 000	2 658 000	2 530 000
5～9	5 317 000	2 721 000	2 597 000
10～14	5 746 000	2 945 000	2 801 000
15～19	5 973 000	3 062 000	2 911 000
20～24	6 004 000	3 081 000	2 923 000
25～29	6 665 000	3 404 000	3 261 000
30～34	7 434 000	3 782 000	3 652 000
35～39	8 908 000	4 529 000	4 379 000
40～44	9 517 000	4 830 000	4 687 000
45～49	8 279 000	4 178 000	4 101 000
50～54	7 637 000	3 830 000	3 807 000
55～59	7 658 000	3 807 000	3 851 000
60～64	9 608 000	4 712 000	4 895 000
65～69	8 654 000	4 162 000	4 492 000
70～74	7 562 000	3 521 000	4 041 000
75～79	6 278 000	2 763 000	3 515 000
80～84	4 748 000	1 883 000	2 865 000
85～89	2 918 000	967 000	1 950 000
90～94	1 213 000	282 000	930 000
95～99	342 000	62 000	280 000
100～	55 000	7 000	48 000

資料：「人口推計（平成25年10月1日現在）」（総務省統計局）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女
全 国	125 704 000	61 186 000	64 518 000
北海道	5 412 000	2 553 000	2 859 000
青森	1 333 000	626 000	706 000
岩手	1 290 000	617 000	673 000
宮城	2 317 000	1 129 000	1 188 000
秋田	1 047 000	491 000	556 000
山形	1 136 000	547 000	589 000
福島	1 939 000	945 000	994 000
茨城	2 894 000	1 444 000	1 451 000
栃木	1 961 000	976 000	986 000
群馬	1 950 000	960 000	989 000
埼玉	7 134 000	3 576 000	3 559 000
千葉	6 114 000	3 047 000	3 067 000
東京都	12 979 000	6 417 000	6 562 000
神奈川県	8 956 000	4 487 000	4 469 000
新潟	2 319 000	1 123 000	1 196 000
富山	1 065 000	515 000	551 000
石川	1 150 000	556 000	594 000
福井	784 000	380 000	404 000
山梨	836 000	409 000	426 000
長野	2 095 000	1 020 000	1 075 000
岐阜	2 018 000	978 000	1 040 000
静岡県	3 668 000	1 806 000	1 862 000
愛知	7 289 000	3 647 000	3 642 000
三重	1 802 000	878 000	924 000
滋賀	1 397 000	690 000	707 000
京都	2 576 000	1 236 000	1 341 000
大阪	8 690 000	4 193 000	4 497 000
兵庫	5 483 000	2 620 000	2 863 000
奈良	1 374 000	649 000	725 000
和歌山	975 000	459 000	516 000
鳥取	574 000	274 000	300 000
島根	697 000	334 000	363 000
岡山	1 913 000	919 000	994 000
広島	2 809 000	1 356 000	1 453 000
山口	1 408 000	665 000	744 000
徳島	766 000	364 000	401 000
香川	979 000	472 000	507 000
愛媛	1 398 000	658 000	740 000
高知	742 000	349 000	393 000
福岡	5 047 000	2 381 000	2 666 000
佐賀	836 000	394 000	442 000
長崎	1 391 000	650 000	741 000
熊本	1 793 000	844 000	949 000
大分	1 170 000	554 000	617 000
宮崎	1 116 000	525 000	592 000
鹿児島	1 674 000	784 000	890 000
沖縄	1 407 000	689 000	717 000

資料：「人口推計（平成25年10月1日現在）」（総務省統計局）

21大都市・男女別人口（総人口）

21大都市 (再掲)	総数	男	女
東京都区部	9 060 000	4 461 000	4 599 000
札幌市	1 936 000	904 000	1 032 000
仙台市	1 069 000	520 000	548 000
さいたま市	1 243 000	620 000	623 000
千葉市	964 000	480 000	484 000
横浜市	3 703 000	1 848 000	1 854 000
川崎市	1 448 000	736 000	712 000
相模原市	721 000	362 000	359 000
新潟市	810 000	389 000	421 000
静岡市	710 000	345 000	364 000
浜松市	793 000	393 000	401 000
名古屋市	2 271 000	1 119 000	1 153 000
京都市	1 471 000	698 000	772 000
大阪市	2 683 000	1 302 000	1 382 000
堺市	841 000	403 000	437 000
神戸市	1 540 000	727 000	813 000
岡山市	713 000	343 000	371 000
広島市	1 183 000	570 000	614 000
北九州市	968 000	455 000	513 000
福岡市	1 506 000	712 000	795 000
熊本市	740 000	347 000	393 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成25年10月1日現在の総人口である。

(付表)  
年齢調整死亡率の算出に用いた人口  
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総数	120 287 000

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成25年	平成24年	対前年増減
	人	人	人
総数	125 704 000	125 957 000	△ 253 000
0～4歳	5 188 000	5 224 000	△ 36 000
5～9	5 317 000	5 364 000	△ 47 000
10～14	5 746 000	5 823 000	△ 77 000
15～19	5 973 000	5 981 000	△ 8 000
20～24	6 004 000	6 077 000	△ 73 000
25～29	6 665 000	6 849 000	△ 184 000
30～34	7 434 000	7 644 000	△ 210 000
35～39	8 908 000	9 268 000	△ 360 000
40～44	9 517 000	9 318 000	199 000
45～49	8 279 000	8 082 000	197 000
50～54	7 637 000	7 587 000	50 000
55～59	7 658 000	7 882 000	△ 224 000
60～64	9 608 000	10 188 000	△ 580 000
65～69	8 654 000	8 161 000	493 000
70～74	7 562 000	7 364 000	198 000
75～79	6 278 000	6 231 000	47 000
80～84	4 748 000	4 618 000	130 000
85～89	2 918 000	2 773 000	145 000
90～94	1 213 000	1 143 000	70 000
95～99	342 000	330 000	12 000
100～	55 000	51 000	4 000

資料：「人口推計（各年10月1日現在）」（総務省統計局）

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女性人口）の対前年比較

年齢階級	平成25年	平成24年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	2 911 000	2 913 000	△ 2 000
20～24	2 923 000	2 960 000	△ 37 000
25～29	3 261 000	3 354 000	△ 93 000
30～34	3 652 000	3 756 000	△ 104 000
35～39	4 379 000	4 556 000	△ 177 000
40～44	4 687 000	4 591 000	96 000
45～49	4 101 000	4 005 000	96 000
計	25 914 000	26 135 000	△ 221 000

資料：「人口推計（各年10月1日現在）」（総務省統計局）





○本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。